

2018 年度（平成 30 年度） 第 1 回理事会次第

日 時：2018 年 5 月 13 日（日）10：00～

会 場：千葉県社会福祉士会 事務局会議室
（千葉市中央区千葉港 7-1 塚本千葉第五ビル 3 階）

1. 出席者及び資料の確認

2. 開 会

3. 会長挨拶

4. 議 題

（1）会長と三役会からの報告

- ①「社会福祉士の矜持について」企画
- ②寄付金の受け入れについて
- ③e-ラーニングについて
- ④総会で出た課題について

（2）各委員会報告事項に対する質疑

（事前送付資料によりご確認ください）

（3）議事

- ① 平成 30 年度補正予算について
- ② 第 6 回定時総会議案等について

5. 閉 会

次回理事会予定 第 2 回 理 事 会：2018 年 6 月 24 日（日）10：00～

第 6 回定時総会：2018 年 6 月 24 日（日）13：30～

場 所：ホテルリブマックス千葉美浜 2 階

社会福祉士（≡ソーシャルワーカー）の矜持を考える

～法制審再犯防止室で言われている「社会内処遇」の中で唱えられている、条件付きで検察庁に社会福祉士を配置することを議論の契機にして～

【お誘い文】

このことを契機に社会福祉士の矜持を考えよう！

【問題意識】

- ・ソーシャルワークとは何か
- ・それが発揮できる現場はどこか
- ・今回のことを、それぞれの立場でどう考えるか
- ・それでは、どうするのか
- ・あらためて、ソーシャルワークとは何か？

【進行】

- (1) 主旨と背景の説明（20分） 渋沢
- (2) 本件（検察庁に社会福祉士が配置されること）に関しての意見（20分×3）
 - ①（賛成の立場で）日本社会福祉士会の見解/中島康晴さん（日本社会福祉士会副会長）
 - ②（反対の立場で）千葉県弁護士会・地域定着など
 - ③（賛成の立場で）検察庁で働く社会福祉士
- (3) 壇上での意見交換（20分）
- (4) フロアを交えての意見交換（60分）
- (5) まとめ（no plan）

【主催】千葉県社会福祉士会

【参加費】1000円

【費用】

中島副会長交通費＋宿泊費	≒50,000円
会場代（リブマックス）	≒25,000円
諸経費	≒10,000円
合計	85,000円

【報告事項】

1 点と線発行の進捗

(1) 第 97 号のページ割り振り

①特集『これからの社会福祉士会を語る』

- ・会長あいさつ
- ・理事一人 150 字程度

→5 月 21 日（月）までに、原稿と写真をメール kouhou_tensen@cschwiba.com で提出してください。

②誌面スーパービジョン『いろいろあったけど私は元気です』

③地域集会（印西）④社会福祉士の輪 ⑤事務局便り

(2) スケジュール

7 月 3 日（火）同封物（研修案内等）原稿×切 → 事務局へメール office@cschwiba.com で

7 月 23 日（月）の週 発送

2 平成 30 年度ゆうメール料金値上げへの対応

(1) 値上げの状況

柏：@75 円→@95 円（当初 100 円と提示があったが、事務局からの交渉により 95 円に）

我孫子：@99 円→変更なし（もともと高い金額で設定）

千葉中央：75 円→@79 円

(2) 年間の支出見込みの増額

約 60,000 円

(3) 対応

予算執行は、7 月末の予定

不足が想定される支出については、予備費からの流用で対応したい。

[研修委員会]

《報告》 研修啓発部会

1、平成30年度基礎研修ⅠⅡⅢ日程及び講師予定者（別紙参照）

2 研修委員会 基礎研修リーダー会議 （別紙参照）

平成30年4月21日 10:00～12:00事務局奥

3 平成29年度 社会福祉士本試験 解答解説終了 （ジェイシー教育研究所）

基礎研修Ⅰ 集合研修プログラム①

平成30年9月1日(日) 時間:受付9:00 9:00～17:00

場所:ホテルリブマックス千葉美浜

講師名	時間	タイトル	ねらい
講義 千葉県社会福祉士会 会長	60分	社会福祉士会の あゆみ	日本社会福祉士会と都道府県社会福祉士会のあゆみを知り、専門職団体として目指すところを知る。
講義 千葉県社会福祉士会 事務局長	60分	日本社会福祉会、 都道府県社会福祉 士会の組織	専門職団体としての日本社会福祉士会、都道府県社会福祉士会の現状を知る。
講義 千葉県社会福祉士会 研修委員長	90分	生涯研修制度	生涯研修制度の目的、役割、仕組み今後の取り組みを知る。
演習 千葉県社会福祉士会 基礎研修Ⅰリーダー 堀江 亜希子	150分	社会福祉士としての 専門性について考 える。	社会福祉士の専門性に気づき、自らの将来像を描く。その目標に向かって研修に臨むことができる。

基礎研修Ⅰ 集合研修プログラム②

平成31年2月11日(日) 時間:受付9:00 9:00～17:00

場所:ホテルリブマックス千葉美浜

講師名	時間	タイトル	ねらい
講義 千葉県社会福祉士会 研修委員 大橋 美和	90分	社会福祉士に共通 する専門性の理解	社会福祉士の共通基盤について理解し、どの分野や立場においても必要な専門職の力量について理解する。
講義 千葉県社会福祉士会 基礎研修Ⅰリーダー 堀江 亜希子	90分	倫理綱領・行動規 範の理解	社会福祉士の倫理綱領・行動規範について、専門職として倫理綱領を持つ意味を理解する。
演習 基礎研修Ⅰ副リーダー 田尻 真人	180分	社会福祉士の倫理 綱領の実践適用	社会福祉士の倫理綱領・行動規範について、実際の事例を通してその役割や意義を学ぶ。

■平成30年度 基礎研修Ⅱの概要 千葉県社会福祉士会

☆講師名はあくまでも予定です。当日変わる場合もありますのでご了承ください。

研修番号	日程 案	科目	テーマ	研修内容	時間	研修方法
集合研修	平成30年5月27日(日) 受付9:00 9:30～17:00 会場:ホテルリブマックス千葉美浜 成田国際福祉専門学校 相澤 雅則 先生	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	相談援助の視座と展開過程	・相談援助サービスとの視座 ・ソーシャルワーカーの機能 ・社会福祉援助の展開過程	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義:講師にて講義を実施し、ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。
			実践のためのアプローチ (ソーシャルワーク実践理論・モデルから学ぶ)	・エンパワメントアプローチとは ・アプローチによる実践の比較 ・危機介入アプローチの実例	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義:講師にて講義を実施し、ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。
	平成30年6月17日 受付9:00 9:30～12:40 会場:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:浦安市社会福祉協議会 榎林 元樹 先生	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	自立生活支援とコミュニケーション ソーシャルワーク	・社会福祉における生活の伝え方 ・生活をとらえる視点 ・地域自立生活支援とコミュニケーション ・ソーシャルワーク	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義:ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。
集合研修1	平成30年7月22日 受付9:00 9:30～17:00 会場:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:NPO法人おたがいでま 大澤 直樹先生	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	実践事例演習	・理論を言語化する ・アセスメント、支援目標の設定と、支援計画案策定 ・チームアプローチと組織間ネットワーク ・ケア会議の進め方(モニタリング・評価・ネットワーク)	・自宅学習(事前課題提出あり):6時間 ・演習:6時間	・自宅学習(事前):設定された課題についてレポートをまとめる。 ・演習:ソーシャルワーク理論系科目の上記の講義を修了していない者は、参加できない。 ・事例を用いてロールプレイを行う。 ・事例検討ではなく、展開過程を理解するための講義・演習を行う。
	平成30年8月26日 受付9:00 9:30～17:00 会場:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:松山福祉専門学校 居本 智男先生	地域開発・政策系科目Ⅰ	社会資源の理解と社会資源開発	・社会資源とは、社会資源の連携、社会資源の開発 ・所属組織が所在する地域特性から考えられる住民生活の特徴について ・所属組織が所在する地域で今後必要と思われる社会資源について	・自宅学習:3時間 ・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・自宅学習:設定された課題についてレポートをまとめる。 ・講義 ・グループ討議:ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。
			連携システムのあり方とネットワークの構築	・地域における連携システム ・ネットワークの構築 ・地域の連携システムとネットワークを構築するための工夫	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義:講師にて実施 ・グループ討議:ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。

■平成30年度 基礎研修Ⅱの概要 千葉県社会福祉士会

☆講師名はあくまでも予定です。当日変わる場合もありますのでご了承ください。

研修番号	日程 案	科目	テーマ	研修内容	時間	研修方法
集合研修	平成30年9月30日 受付9:00 9:30～17:00 会場:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:松山福祉専門学校 宮本 智男 先生	地域開発・政策系科目Ⅰ	地域における福祉政策と福祉計画	・所属組織が所在する自治体の福祉計画について ・地域における自組織の役割について ・所属組織が所在する地域の住民福祉活動やボランティア活動の実態や課題 ・地域の福祉政策を知る手掛かりや活用方法について ・福祉行政の計画化、計画策定のプロセス、福祉計画の推進と住民参加 ・地域特性と福祉計画の関係について ・地域で展開されている住民活動の現状と課題について	・自宅学習:3時間 ・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・自宅学習:設定された課題についてレポートをまとめる。 ・講義:DVDを活用した講義を行う。 ・グループ討議:ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。
			社会福祉調査の方法と実際	・社会福祉調査とは、調査のプロセス、調査の方法 ・社会福祉調査をの企画について ・所属組織が所在する地域での実際の調査について	・自宅学習:3時間 ・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・自宅学習:設定された課題についてレポートをまとめる。集台研修終了後に事後課題を提出する。 ・講義:講師にて講義を実施 ・グループ討議:ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。
			スーパーバイジョンとは	・一般的スーパーバイジョン、社会福祉士会におけるスーパーバイジョン、社会福祉士会のスーパーバイジョンの研修体系と実施体制について概要を説明する。 - またスーパーバイジャーとして必要な心得を伝え、モチベーションを高める。	・講義:2時間	・パワーポイントをを用いた講義をする。 ・講師1名
集合研修2	平成30年10月21日 受付9:00 9:30～17:00 会場:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:千原厚生相談支援センター 丸 晶先生	人材育成系科目Ⅰ	スーパーバイジョンのモデルセッションを見る	・日本社会福祉士会のスーパーバイジョンのイメージを持つため、モデルスーパーバイジョンのセッションを見る。	・講義:2時間	・事前にシナリオ及び事例を準備し、初回のスーパーバイジョンの展開を見せる。その際、機能表を用いながらシナリオに基づいて適宜説明を加える。 ・講師1名 ・スーパーバイザー役、スーパーバイジャー役各1名
			スーパーバイジャー体験	・バイジャーとしての基本 ・スーパーバイジョンの実際(スーパーバイジャーとして) ・モデル事例を用いてスーパーバイジャー役を行う。	・演習:2時間	・5～6名のグループ編成において各グループにファシリテーター1名 ・ファシリテーターがスーパーバイザー役となり、2名程度模擬事例を使いスーパーバイジャー体験をする。 ・他の受講者は観察をし、振り返りを通じて共有する。 ・講師1名

■平成30年度 基礎研修Ⅱの概要 千葉県社会福祉士会

☆講師名はあくまでも予定です。当日変わる場合もありますのでご了承ください。

研修番号	日程 案	科目	テーマ	研修内容	時間	研修方法
集合研修	平成29年11月12日 受付9:00 9:30～17:00 会場：ホテルリブマックス千葉美浜 講師：合同会社浅見福祉サービス 浅見 雅人	権利擁護・法学系科目Ⅰ	社会福祉における法Ⅰ	・人権の歴史 ・社会福祉士実践と法理念(憲法25条及び13条、社会福祉法の理念など) ・憲法14条「法の下での平等」と格差問題 ・自己決定と自己責任の間 ・立法上の権利 ・契約上の権利 ・行政手続の法 ・権利の救済(行政訴訟、行政不服審査など)	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義:講師にて講義を実施 ・グループ討議:ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。
		権利擁護・法学系科目Ⅰ	ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ	・ソーシャルワークと権利擁護の視点 ・権利擁護を支える理念(自己決定、エンパワメント、アカウンタビリティ、セルフアドボカシー) ・権利擁護の諸制度(成年後見制度・虐待対応について含む)	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義:講師にて講義を実施 ・グループ討議:ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。
集合研修	平成30年12月9日 受付9:00 9:30～19:30 会場：ホテルリブマックス千葉美浜 講師：千葉県社会福祉士会 研修委員 石川 明子先生	権利擁護・法学系科目Ⅰ	社会福祉における法Ⅱ	・民法の構成 ・権利主体、客体和法律行為 ・成年後見 ・契約	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義:講師にて講義を実施 ・グループ討議:ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。
		権利擁護・法学系科目Ⅰ	ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ	・権利擁護実践事例1(独居高齢者の成年後見制度の活用事例) ・権利擁護実践事例2(障害者における消費者被害の回復)	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義:講師にて講義を実施 ・グループ討議:ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。
		実践評価・実践研究系科目Ⅰ	実践研究の意義と方法	・実践研究とは何か ・実践研究が求められる理由 ・社会福祉における実践研究の定義 ・日本社会福祉士の歩みにみる実践研究への道のり	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義:講師にて講義を実施 ・グループ討議:ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。

■平成30年度 基礎研修Ⅱの概要 千葉県社会福祉士会

☆講師名はあくまでも予定です。当日変わる場合もありますのでご了承ください。

研修番号	日程 案	科目	テーマ	研修内容	時間	研修方法
	平成31年1月28日 受付9:00 9:30～17:00 会場 ホテルリブマックス千葉美浜 講師 城西国際大学 小川 智子先生	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	実践研究のための記録	- 記録の目的 - 多様な記録の用途 - 実践研究を進めるうえでの実践記録の必要性 - よい記録をとるための留意点 - ビジュアルアセスメントツールの活用	- 講義:1.5時間 - グループ討議:1.5時間	- 講義:講師にて講義を実施 - グループ討議:ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。
			実践評価の方法	- 実践評価とは - 実践評価の種類 - 評価目的による分類 - 実践評価の方法	- 講義:1.5時間 - グループ討議:1.5時間	- 講義:講師にて講義を実施 - グループ討議:ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。
集合研修3	平成31年2月25日 受付9:00 9:30～17:00 会場 ホテルリブマックス千葉美浜 講師 城西国際大学 小川 智子先生	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	実践研究発表の方法	- 実践研究の具体的な方法 - 実践研究に基づく論文作成の留意点 - 実践研究論文の具体的事例を提示し、論文の組み立て方や研究方法、倫理的配慮等について - 自分自身の実践事例のプレゼンテーション(発表→質問→相互評価)	- 講義:2時間 - 演習:2時間 - プレゼンテーション:2時間	- 講義:講師による講義を行う。 - 演習:講義を受けたあと演習を行う。 - プレゼンテーション:自分自身の実践事例についてプレゼンテーションを行う。 - 設定された課題についてレポートをまとめる。

■基礎研修Ⅲの概要

★講師名はあくまでも予定です。当日変わる場合もありますのでご了承ください。

期	日 時 場 所	期 間	テ ー マ	研 究 対 象	研 究 方 法
第1群	平成30年5月26日(土) 受付9:00 9:00～17:00 会場:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:千葉県社会福祉士会 研修委員 宮下朱実生	集合研修1	対人援助と事例研究	対人援助の本質と事例研究の定義	講師による講義を行う
		集合研修2	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	事例研究の枠組みと5つの構成要素	講師:1.5時間
		集合研修3		事例研究の方法としてのケースカンファレンスについて一有意味な展開のための40のポイント	講師:1.5時間
		集合研修4	事例研究のための事例のまとめ方	事例のまとめ方(事例研究用フェイスシート、経過記録、全体の所感・論点・展望)	講師:3時間
	平成30年6月23日(土) 受付9:00 9:00～17:00 会場:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:千葉県社会福祉士会 研修委員 宮下朱実生	集合研修5	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	「事例研究のまとめ方」について講義を受けた上で、指定されたフォーマットに基づいて自身の実践事例をまとめる	講師:1.5時間
第2群		集合研修1	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	ソーシャルワークの実践理論に基づき、個人、地域、組織における相談援助の基礎が理解できているかの課題をまとめる	講師:1.5時間
		集合研修2		自身の実践の計画、振り返り、改善・報告発表	報告会:各自が作成した事前課題の報告を行う。報告後に各グループで振り返りを行い、最後に講師が全体講評を行う
	平成30年7月21日(土) 受付9:00 9:00～17:00 会場:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:千葉県社会福祉士会 研修委員 宮下朱実生	集合研修3	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	事例検討会を受講者自ら企画・運営し、自身の実践についての評価・検証を行う	講師:1.0時間 演習:3.5時間
		集合研修4		指定されたフォーマットに基づいて自身の実践事例をまとめた者を集団研修で相互評価してもらった上で進捗する	科目の修了の評価のためレポート作成し提出する
	平成30年8月25日(土) 受付9:00 9:30～17:00 場所:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:合同会社浅見福祉サービス 代表社員 浅見雅人	集合研修5	権利擁護・法務系科目Ⅰ	意思決定の支援演習 ・意思決定の支援演習 ・権利侵害の防止と対応についての演習	資料を読みレポートを作成する
第3群	平成30年9月24日(土) 受付9:00 9:30～17:00 場所:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:神山 裕也先生	集合研修1	地域開発・政策系科目Ⅰ	地域における福祉活動の実態 ○地域における福祉活動	講師:講師による講義あるいはDVDを活用した講義を行う 演習:講義をふまえて、生活課題から社会資源の開発やネットワーキング構築、課題解決に向けた具体案の検討について所定のワークシートを用いた個人ワークやグループワークを行う。各自が作成した課題を用いて、意見交換や相互評価を行う
		集合研修2		自らの調査内容、結果の確認 ・二重三重の調査に向けた具体的計画の振り返り ・当事者の声を聴く	講師:1.5時間 事例:1.5時間 演習:3.5時間
	平成30年10月20日(土) 受付9:00 9:30～17:00 場所:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:神山 裕也先生	集合研修3	地域開発・政策系科目Ⅰ	地域における福祉活動の実態 ○地域における福祉活動	講師:1.5時間 事例:1.5時間 演習:3.5時間
		集合研修4		再考した結果を踏まえ、計画を具体化するための具体策や今後の方向性についてまとめる	講師:1.5時間 事例:1.5時間 演習:3.5時間
		集合研修5		自組織に求められている課題と今後の方向性についてまとめる	講師:1.5時間 事例:1.5時間 演習:3.5時間

第4群	集合研修1 (DVD活用)	平成30年11月17日(土) 受付9:00 時間:9:30~17:00 場所:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:成田国際福祉専門学校 相澤 雅則 先生	サービス管理・経営系科目 I	・社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営 ・いまま、なぜ福祉に“経営”なのか ・福祉経営の意義 ・社会福祉士が経営をとらえる視点 ・組織のミッションとコンプライアンス ・サービス管理 ・リスクマネジメント ・公益法人としての法人経営	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義: DVDを活用した講義を行う ・グループ討議: ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う
	集合研修2 (DVD活用)		サービス管理・経営系科目 I	・社会福祉実践の価値 ・サービス評価が必要とされる背景 ・サービス評価の視点と枠組み(事業者・利用者・第三者評価) ・サービス評価の実践	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義: DVDを活用した講義を行う ・グループ討議: ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う
	集合研修3 (DVD活用)	平成30年12月8日(土) 受付9:00 時間:9:30~12:40 場所:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:成田国際福祉専門学校 相澤 雅則 先生	サービス管理・経営系科目 I	・リスクマネジメントと情報解決システム ・苦情のとりえ方 ・苦情解決システム(苦情解決の仕組み・苦情解決の意義、苦情解決における役割・しくみ) ・苦情解決の意義	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義: DVDを活用した講義を行う ・グループ討議: ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う
	集合研修4	平成31年1月19日(土) 受付9:00 時間:9:30~17:00 場所:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:NPO法人おたがいさま 大澤 直樹先生	サービス管理・経営系科目 I	・事前課題 〔平成30年1月9日当日に提出〕 ・事例研究(苦情、リスク、サービス評価) ・課題1: 諸奥組織の枠組みをふまえて、サービス管理・改善を行う場合の働きかけ先・方法・タイミング等についてレポートにまとめる ・課題2: 他機関のサービス管理方法と対比し、改善課題をレポートにまとめる	・事前課題 ・演習5時間 ・事後課題	・講義内容をもとに、事前課題で作成した所属組織の現状及び改善課題についてグループ内で、表し共有する。その後、講義のポイント①②の課題について対応できるよう演習を行う ・指定された課題についてレポートをまとめる
第5群	集合研修1	平成31年2月16日(土) 受付9:00 時間:9:30~19:30 場所:ホテルリブマックス千葉美浜 講師:講師:千葉県社会福祉士 研修委員会 石川 明子先生	人材育成系科目 I	・事前課題 〔平成30年2月16日当日に提出〕 ・スーパービジョンのモデルセッション ・自己チェックシート(様式1)の記入	・事前課題 ・講義2時間 ・演習4時間	・一連のモデルスーパービジョンを見て共有した後、講師とともにスーパービジョンのプロセスを振り返る。 ・体験シートを使い体験する。
	集合研修2		人材育成系科目 I	・科目修了レポート 〔後日提出日お知らせ〕 ・自己振り返りながら、所属組織におけるソーシャルワーク業務の内容及び社会福祉士の役割について系統的に説明し、後進育成プログラムについて企画・運営プログラムを立案する ・自己の職場実践について説明 ・自己チェックの実施(自己の振り返り) ・研修プログラムの立案	・事前課題 ・講義1時間 ・演習4時間	・それぞれの実践をチェックシートを確認しながら振り返り、それをもとに業務の内容や社会福祉士の役割についての説明に関するディスカッションを行う ・自己の振り返りをもとに、後進育成のために求められる研修プログラムを立案する

合計時間数:
56.5時間

1) 出席と振替について

- ・出席されましたら、受講票及び課題等を受付に提出してください。
- ・15分以上、遅刻・早退及び途中退席された場合は出席を認められません。
- ・他県への振替は原則できません。振替希望の際、まずは担当スタッフへ事前にご連絡ください。

2) 講義内での注意

※事前課題及び中間課題の提出がない場合は、受講できません。

- ・修了課題で一定の基準に達しない場合は再提出を求めます。
- ・講義は、講師および担当スタッフの指示に従ってください。
- ・他の受講生のご迷惑になるような行為等があった場合は、ご退席いただく場合がありますのでご了承ください。
- ・受講される方は、事務局電話を登録してください。留守番電話機能を付けていただければさらに結構ですが、勤務時間に受信できなくてもいいので、着信を確認したら必ず返信してください。
- ・受講者全員が同じテキスト・ワークを使うので、必ず氏名を記入しておいてください。
(毎年、紛失される方がおります。忘れ物があっても名前がないとお返しできません。)
- ・携帯電話の電話はお切りになるかマナーモードにしてください。通話をご遠慮ください。
- ・休憩中、所定の講義室内での飲食は可能ですが、それ以外の飲食は担当スタッフの指示に従ってください。
- ・講義室は禁煙です。所定の場所で喫煙をお願いします。
- ・各講義室、トイレ以外の出入りはご遠慮ください。
- ・貴重品の管理はご自身で行ってください。当会での責任は負いかねます。
- ・ホテルの駐車場はホテル宿泊者にご利用になりますので公共機関を御利用ください。

3) 災害時のご案内について

- ・原則予定通り研修を行います。万が一中止になる場合は当会ホームページをご確認ください。
- ・土・日曜日、事務局は休業となっておりますので教室の地図等は事前にご確認いただきますようお願いいたします。

【添付資料】

【活動報告】

○ ぱあとなあ千葉全体会

日 時：3月10日（土） 13：00 ～ 16：00

場 所：千葉県社会福祉センター5階大会議室

参加者：69名

（ 概要 ）

・平成29年度活動報告・30年度活動方針について

ささえあい制度資金の見直しについて

未成年後見の取扱いについて

・部会報告

研修部会：研修状況および人材育成研修について

研修テーマの検討

コーディネート部会：公平性と候補者推薦基準について

現状と今後の課題

業務管理部会：財産目録と通帳の提出について

不正防止の徹底と利用しやすさとの調和

リスクマネジメント部会：専門職としての社会福祉士の役割

登録員への苦情に対する対応について

渋谷会長：ささえあい制度の説明

・質疑応答

指導監督体制と家裁との係わり

提出書類と個人情報保護について

ささえあい制度資金の利用について

ぱあとなあ千葉の活動と地域集会について

【理事会決議・承認依頼事項】

【添付資料】

なし

【報告事項】

活動状況等

1 弁護士との協議会（予定）

日 時 平成 30 年 3 月 7 日 午後 5 時 30 分から

参加者 5 名

概 要

（仮）刑事司法ソーシャルワークの実務の出版について

日 時 平成 30 年 4 月 11 日 午後 5 時 30 分から 7 時

参加者 2 名

概 要

（仮）刑事司法ソーシャルワークの実務の出版について

その後、懇親会（食事等）

【理事会決議・承認依頼事項】

- ・千葉県ソーシャルワーカー三団体災害担当者連絡会議の開催について

日 時：平成 30 年 4 月 14 日（土）13：30 から 15：30

場 所：千葉県社会福祉士会事務局会議室

各団体より参加し三団体で何ができるかという課題について話し合いました。

- ・研修会を充実させる

9 月 30 に社会福祉士会で研修を予定（佛教大学:後藤先生）

それぞれの会の研修会に共催（主催は社会福祉士会、共済として精神保健福祉士協会、医療ソーシャルワーカー協会）としてお互いの会の名前を使う。

- ・各会で千葉県災害ボランティアセンター連絡会に入ってはどうか

第 39 回 9 都市合同防災訓練に三団体で参加してみてもいいのではないかという案もありましたが、当会の会員のみの参加ということで事務局（災害 V C）に断られました。

- ・災害対策研修会の開催について

日時：平成 30 年 9 月 30 日（日） 社会福祉センター中研修室

講師：佛教大学 後藤至功先生

災害時は会員の安否確認はもちろん、委員会の構成委員にも大きな影響をもたらします。役員の方は率先して参加していただき、また、災害に対して意識の高い受講生が増えるよう促してください。

当会以外の会議、イベント等

- ・災害に関する県内士業間連携に関する協議会

日時：平成 30 年 6 月 27 日千葉県弁護士会館で開催予定。

- ・千葉県災害ボランティアセンター連絡会

千葉県弁護士会と当会の 2 団体が 3 月 22 日同日加入する。

日時：平成 30 年 4 月 27 日（金） 平成 30 年 6 月中旬開催予定 定例会

- ・第 39 回 9 都市合同防災訓練

日時：平成 30 年 8 月 26 日開催予定 開催場所：勝浦市

参加者約 5,000 名、昨年度の会場が匝瑳市で県知事が来たことや人数の多さに常陸谷ビ
ックリ

- ・関東甲信越ブロック災害連携会議

日時：平成 30 年 5 月 26 日（土）13：30～15：30

場所：長野県社会福祉士会事務局 長野市南県町 685-2 長野県食糧会館 6F

【報告事項】

◇千葉県社会福祉士会会長職務執行状況 2018年3月12日～5月13日

【活動報告】

- 3月12日(月) 松戸事業支援員面接
- 15日(木) 茂原市地域包括支援センター運営協議会
- 16日(金) 内閣府障害者差別協議会シンポジウム
- 19日(月) 福祉と司法の千葉県連絡協議会記者会見
- 24日(土) 福祉と司法の千葉県連絡協議会キックオフイベント
- 28日(水) 千葉県社会福祉協議会理事会
- 4月3日(火) 福祉と司法の千葉県連絡協議会打合せ
- 7日(土) 社会内処遇シンポジウム参加
- 14日(土) 日本社会福祉士会副会長来訪面談
- 5月7日(月) 倫理規則策定作業部会
- 9日(火) 三役会

◇各種委員会等

【委員推薦】

- 2018年4月1日～2019年3月31日 市川市役所 市川市審判請求対象者検討会委員
小川 晴雄氏、吉田 愛子氏、今川 純子氏
- 2018年4月1日～2020年3月31日
松戸市役所 松戸市高齢者虐待防止ネットワーク委員 須田 仁氏
- 2018年4月1日～2020年3月31日
松戸市役所 松戸市介護保険運営協議会委員 宮本 哲男氏
- 2018年4月1日～2019年3月31日 市川市社会福祉協議会
専門職後見人によるアトバイザー 今川 純子氏
- 2018年4月1日～2019年3月31日 千葉県社会福祉協議会
千葉県新地域支援事業推進協議会幹事 園 康祐氏
- 2018年5月30日～2020年3月31日 浦安市役所
浦安市高齢者・障がい者権利擁護講義会委員 今川 純子氏
- 2018年6月1日～2020年5月31日 佐倉市役所
成年後見制度利用促進に関する検討会委員 高美 修次氏
- 2018年4月1日～2021年3月31日 柏市社会福祉協議会
かしわ福祉権利擁護センター運営委員 泉 幸江氏
- 2018年4月1日～2020年3月31日 千葉県社会福祉協議会
千葉県地域福祉フォーラム幹事会委員 奥野 不二子氏
- 2018年6月16日～2019年6月総会まで 日本社会福祉士会
多文化ソーシャルワーク全国実践研究集会プロジェクト委員 南野 奈津子氏

【講師派遣】

○2018 年 5 月 25 日 柏市役所 保健福祉部地域包括支援課 柏市地域ケア個別会議

協力者(助言者) 吉田 充氏

【後援・協賛】

○2018 年 6 月 10 日 NPO 法人 千葉言友会 「吃音を考えるつどい」後援

○2018 年 7 月 8 日 千葉県社会福祉協議会 「平成 30 年度第 1 回福祉のしごと就職フェア・in ちば」後援

○2018 年 10 月 18 日～19 日 日本デイケア学会 「日本デイケア学会 第 23 回年次大会千葉大会」後援

○2018 年 5 月 10 日よりエントリー開始 RUN 伴 2018 ちば 実行委員会 「RUN 伴 2018 ちば」後援

【日本社会福祉士会】

○2018 年 5 月 26 日、27 日 2018 年度 都道府県ばあとなあ連絡協議会

小川 晴雄氏、四ノ宮 章氏出席予定

○2018 年 6 月 16 日 山梨県社会福祉士会 2018 年度第 1 回関東甲信越ブロック連絡協議会

渋沢 茂会長出席予定

◇その他の活動

○2018 年 4 月 3 日 司法と福祉の連絡協議会

渋沢 茂会長出席

○2018 年 4 月 27 日 市川市役所 市川市審判請求対象者検討会

小川 晴雄氏出席

○2018 年 5 月 19 日 千葉県介護支援専門員協議会 平成 30 年度第 1 回代議員会

井田 英宏氏、田村 信之氏出席予定

○2018 年 5 月 20 日 千葉県ホームヘルパー協議会 平成 30 年度ホームヘルパー協議会総会

大浦 明美副会長出席予定

○2018 年 5 月 21 日 千葉県介護保険関係団体協議会 平成 30 年度千葉県介護保険関係団体協議会

総会及び第 1 回幹事会 相澤 雅則副会長出席予定

○2018 年 5 月 25 日 柏市役所 柏市地域ケア個別会議 櫻井 勉氏出席予定

○2018 年 5 月 26 日 千葉司法書士会 平成 30 年度定時総会懇親会

大浦 明美副会長出席予定

○2018 年 6 月 22 日 市川市役所 市川市審判請求対象者検討会

今川 純子氏出席予定

**** 会員情報 ****

4 月 30 日現在正会員:1,453 名 (新入会: 42 名、転入:4 名、転出:2 名、退会:48 名、資格喪失:1 名)

【添付資料】

別紙①-eラーニング講座無料視聴期間延長及び講座内容（4 枚）

別紙②-eラーニング講義コンテンツ利用年間負担金について（2017 年 9 月会長会議資料より抜粋 4 枚）

【報告事項】

2018 年 4 月 14 日（土）（公社）日本社会福祉士会副会長 中島 康晴さまが「組織運営にかかる実態調査」で来局され、渋谷会長、岡本事務局長と面談された。かねてより日本社会福祉士会提案の ICT（情報・通信・技術＝インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジー）を活用した eラーニング講義提供について、各県士会の年間負担額 150,000 円を千葉県社会福祉士会として承認いただけるか検討をお願いしたいとのことであった（参考資料 別紙②）

承認にあたりぜひ無料視聴で内容ご確認いただきたいとのことであった（参考資料 別紙①）

【理事会決議・承認依頼事項】

千葉県社会福祉士会として ICT 活用した eラーニング講義提供について年間負担額 150,000 円を承認して宜しいか

(社)日本社会福祉士会 info@jacsw.or.jp

都道府県社会福祉士会
会長・事務局長のみなさま

いつもお世話になります。

現在、配信しておりますeラーニング講座の件でご連絡します。
eラーニング講座は3月31日まで無料配信とアナウンスをしてきましたが、
まだeラーニング講座へのログイン登録者が少ないこと、
(昨年度の登録者と合わせて1,000名程度です)
先日開催された臨時総会でご意見をいただいたように、
都道府県社会福祉士会による負担金の扱いについては、
現状の説明及び今後の取り組み方針を示してから、
再度、意向調査を行うことが必要であることから、
3月31日ありきで負担金もしくは有料配信を開始するのではなく、
当面の間(例えば9月の会長会議の頃まで)、無料配信を継続することとしました。
この間に、多くの会員に視聴いただくようにすること、
今後のeラーニング活用方法について委員会で再整理し、
都道府県社会福祉士会に再度の意向調査をさせていただきたく思います。
何卒、ご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

無料視聴期間の延長については、
本会ホームページ及びeラーニングシステムのお知らせで
個人会員の方々には周知させていただきます。

よろしく申し上げます。

名 前 (公社)日本社会福祉士会
日 付 2018/04/03 火 11:47

eラーニング講座無料視聴期間延長のお知らせ (909)

現在、配信しておりますeラーニング講座の件でご連絡します。
eラーニング講座は3月31日まで無料配信とアナウンスをしてきましたが、当面の間、殆どの
講座について無料配信を継続することとしました。ぜひ、ご視聴ください。

パスワードがわからない方は、次の事項をお書きの上メールでご連絡ください。

メール送付先: e-learning@jacsw.or.jp

記載事項: 「氏名」「会員番号」「社会福祉士登録番号」「生年月日」

公益社団法人日本社会福祉士会 事務局

〒160-0004

東京都新宿区四谷1-13 カタオカビル2階

TEL: 03-3355-6541 FAX: 03-3355-6543

本会代表アドレス info@jacsw.or.jp

ネットワーク事務局 network@jacsw.or.jp

e-ラーニング講座

コンテンツ

- e-ラーニング講座
 - 視聴（会員ログイン）
 - 会員以外の視聴方法

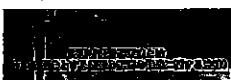
視聴を希望する会員の方・会員以外の方で登録を済ませた方はこちら

視聴を希望する会員以外の方で未登録の方はこちら

e-ラーニング講座のご利用方法

次の講座を配信中です。講師はテーマのスペシャリストが担当しています。

各講座の内容はこちら

配信中の講座	
分類	タイトル・講師（収録時の所属）（価格は2018年3月末までの設定です）
制度の動向	児童福祉法等の改正について（約90分） 講師 内田宏明氏（日本社会福祉士会子ども家庭支援委員会委員） 会員価格：無料 非会員価格：2,160円（税込）
	自殺対策基本法の一部を改正する法律について（約90分） 講師 川野健治氏（立命館大学教授）  サンプル動画 会員価格：無料 非会員価格：2,160円（税込）
	障害者の権利に関する条約について（約90分） 講師 藤井克徳氏（日本障害者協議会代表） 会員価格：無料 非会員価格：2,160円（税込）
	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律について（約90分） 講師 竹之内章代氏（日本社会福祉士会障がい者支援委員会委員）  サンプル動画 会員価格：無料 非会員価格：2,160円（税込）
	第3次犯罪被害者等基本計画について（約90分） 講師 阿波亮子氏（警察庁長官官房参事官） 会員価格：無料 非会員価格：2,160円（税込）
	成年後見制度利用促進法の意義と課題（約90分） 講師 新井誠氏（中央大学教授） 会員価格：無料 非会員価格：2,160円（税込）
	再犯の防止等の推進に関する法律について（約90分） 講師 中島祐司氏（法務省大臣官房秘書課政策評価企画室長補佐兼再犯防止推進室長補佐） 会員価格：無料 非会員価格：2,160円（税込）
	地域共生社会の実現に向けた取組と今後の方向性（約90分） 講師 添田正揮氏（厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 社会福祉専門官） 会員価格：無料 非会員価格：2,160円（税込）
	自殺総合対策大綱について（約90分）

	講師 小高真美氏（上智大学グリーンケア研究所特別研究員） 会員価格：無料 非会員価格：2,160円（税込）
生涯研修	学校における社会福祉士の役割（約50分） 講師 清水剛志氏（日本社会福祉士会子ども家庭支援委員会委員） 会員価格：無料 非会員価格：1,080円（税込）
	矯正施設における社会福祉士の役割（約30分） 講師 松友了氏（日本社会福祉士会リハビリソーシャルワーク研究委員会委員長） 会員価格：無料 非会員価格：1,080円（税込）
	独立型社会福祉士とは（約90分） 講師 小川幸裕氏（弘前学院大学准教授） 会員価格：無料 非会員価格：2,160円（税込）
	ソーシャルワーク専門職のグローバル定義（約40分） 講師 木村真理子氏（日本女子大学教授） 会員価格：無料 非会員価格：1,080円（税込）
	ソーシャルワークデーシンポジウム（約90分） 講師 日本ソーシャルワーカー連盟構成4団体の各会長等 会員価格：無料 非会員価格：無料
情報提供等	会長挨拶（約5分） 西島 善久
	認定社会福祉士を目指そう（約40分） 講師 前嶋弘氏（日本社会福祉士会生涯研修センター企画・運営委員会委員長） 会員価格：無料 非会員価格：無料

視聴を希望する会員以外の社会福祉士で未登録の方

視聴を希望される方は、次の事項を明記・添付のうえメールを送付してください。
登録が済み次第、ご連絡します。

☒ メールを送る（e-learning@jacsw.or.jp）

- 氏名（ふりがな）
- 生年月日
- 連絡先メールアドレス
- 連絡先住所・電話番号
- 社会福祉士登録証の写し

▲ページトップに戻る

e-ラーニング講座 配信中！！

	講座名	講師・所属（収録時）
制度の動向	児童福祉法等の改正について（2016年12月14日収録） 2016年の児童福祉法の改正（2016年6月3日公布）は、子どもが主体であることを示し、子どもの「権利」を明記するなど、理念や原理の見直しが行われました。本講座では、まず児童の権利についてふれ、そのうえで今回の改正のポイントを講義します。	本会子ども家庭支援委員会委員 内田宏明氏（約90分）
	障害者の権利に関する条約について（2016年11月24日収録） 2006年12月13日、第61回国連総会で採択された「障害者の権利に関する条約」は、日本では2014年2月19日に発効しました。国連議場で繰り返されたフレーズ「私たち抜きに私たちのことを決めないで」は計り知れない価値をもたらしました。本講座では障害者権利条約の採択や日本における批准までの経緯、特徴、今後の課題等について講義します。	日本障害者協議会代表 藤井克徳氏（約90分）
	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律について（2016年11月13日収録） 2016年4月1日に障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が施行されました。本講座では障害者差別解消法の制定までの経緯及び理念屋目的、内容について講義します。	本会障がい者支援委員会委員 竹之内章代氏（約90分）
	自殺対策基本法の一部を改正する法律について（2016年11月16日収録） 2016年4月1日に自殺対策基本法の一部を改正する法律が施行されました。本講座では我が国の自殺の現状及び自殺対策基本法の改正内容について講義します。	立命館大学教授 川野健治氏（約90分）
	自殺総合対策大綱について（2017年12月4日収録） 自殺総合対策大綱は、自殺対策基本法をもとに政府が行う具体的な対策の指針を示し、概ね5年で見直されます。このたび、2016年の自殺対策基本法改正の趣旨等をふまえて、2017年7月25日に「自殺総合対策大綱～誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して～」が閣議決定されました。本講座では見直された大綱のポイントと社会福祉士への期待について説明します。	上智大学グリーンケア研究所 特別研究員 小高真美氏（約90分）
	第3次犯罪被害者等基本計画について（2016年12月14日収録） 2016年4月1日に第3次犯罪被害者等基本計画が閣議決定されました。本講座では、基本計画の根拠となっている犯罪被害者等基本法の概要を説明するとともに、第1次基本計画から踏襲されている4つの基本方針と5つの重点課題及び第3次基本計画の概要等について講義します。	警察庁長官官房参事官 阿波亮子氏（約90分）
	再犯の防止等の推進に関する法律について（2017年11月10日収録） 2016年12月に「再犯の防止等の推進に関する法律」（再犯防止推進法）が成立・施行されました。本講座では当法律が成立するまでの再犯防止に関する最近の主な動きや当法律で規定された再犯防止推進計画について講義します。	法務省大臣官房秘書課政策評価企画室長補佐兼再犯防止推進室長補佐 中島祐司氏（約90分）
	成年後見制度利用促進法の意義と課題（2016年12月15日収録） 成年後見制度の利用の促進に関する法律（成年後見制度利用促進法）が2016年5月13日付けで施行されました。本講座は、2000年から施行された成年後見制度の現状と課題、特に障害者権利条約への対応を成年後見法世界会議における横浜宣言（2016年改訂版）と合わせて俯瞰し、その上で成年後見制度利用促進法の意義や社会福祉士及び社会福祉士会に期待することを講義します。	中央大学教授 新井誠氏（約90分）
生涯研修・情報提供等	地域共生社会の実現に向けた取組と今後の方向性 ～ソーシャルワーク専門職である社会福祉士への期待～（2017年11月12日収録） 2015年に厚生労働省から「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」が報告された後、「ニッポン一億総活躍プラン」に地域共生社会の実現が盛り込まれ、「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部が設置されるなど、地域共生社会づくりがクローズアップされています。本講座ではそのような流れの中にある福祉施策の展開や、社会福祉士に求められる役割等について社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会で審議されている内容等を説明します。	厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 社会福祉専門官 添田正揮氏（約90分）
	学校における社会福祉士の役割（2016年11月26日収録） 文部科学省は平成31年度までにスクールソーシャルワーカー（以下、「SSWer」）を10,000名配置の目標を掲げています。SSWerは原則社会福祉士もしくは精神保健福祉士が担うこととされています。本講座ではSSWerとして経験豊富な社会福祉士がその役割と支援の実践を講義します。	本会子ども家庭支援委員会委員 清水剛志氏（約50分）
	矯正施設における社会福祉士の役割（2016年11月26日収録） 司法領域にも多くの社会福祉士が配置されつつあります。本講座では矯正施設から社会へ戻る際の支援（出口支援）における、矯正施設に配置された社会福祉士の役割について講義します。	本会リーガル・ソーシャルワーク研究委員会委員長 松友了氏（約30分）
	独立型社会福祉士とは（2017年12月27日収録） 地域を基盤として独立した立場でソーシャルワーク実践する独立型社会福祉士。本講座では、独立型社会福祉士の沿革、定義と特徴、強みと期待される役割、活動課題と対応について講義します。	弘前学院大学准教授 小川幸裕氏（約90分）
	ソーシャルワーク専門職のグローバル定義（2016年11月16日収録） 2014年7月メルボルンにおける国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）総会及び国際ソーシャルワーク学校連盟（IASSW）総会にて新しい定義が採択されました。本講座はその概要を講義します。	日本女子大学教授 木村真理子氏（約40分）
	ソーシャルワークデーシンポジウム（2017年3月20日収録） 地域共生社会の実現に向けてソーシャルワークの機能がさまざまな領域で求められている一方で、地域住民をはじめ、さまざまな職種でソーシャルワークの機能の必要性が言われています。本シンポジウムではソーシャルワーク専門職である社会福祉士の存在意義と役割を考えます。	ユーティネーター 桜美林大学大学院教授 白澤政和氏 シンポジスト JFSW構成4団体各団体会長（約90分）
	認定社会福祉士を目指そう～経過措置と新たなルートの説明を中心に～（2016年12月15日収録） 認定社会福祉士制度は社会福祉士の研鑽とキャリア形成を支援するとともに、実践力を担保する制度です。本講座では、認定社会福祉士の取得方法についてわかりやすく講義します。	本会生涯研修センター企画・運営委員会委員長 前嶋弘氏（約40分）

ICT を活用した研修提供等の基盤構築について

本会は 2016 年度に ICT を活用した e-ラーニングモデル事業を実施しました。当モデル事業では視聴者の満足度が「満足」「やや満足」が 80%近くあるなど好評価を得ました(別紙参照)。このことは入会促進や退会抑制などの組織強化にもつながるものとして期待できることから、本会全体として取り組む事業として継続したく、以下の内容をご提案します。

1 実態(現状認識)

(1) 県士会会員の研修受講ニーズ等について

<2016 年度入会者(入会 1 年目) アンケート結果>

- ・入会動機として、「専門職としての資質を高めるため」を挙げた者が全体の約 70%でトップであった。
- ・研修会に参加したことがない者にその理由を聞いたところ、「仕事が忙しい」を挙げた者が全体の約 60%でトップであった。
- ・会費については約 70%の者が高いと回答した。

<2012 年度入会者(入会 5 年目) アンケート結果>

- ・県士会活動への満足度と県士会主催研修への参加有無をクロスしたところ、明らかに研修参加有りの方が満足度が高かった(有りの場合の満足は約 50%、無しの場合の満足は約 25%)

<2016 年度退会者アンケート結果>

- ・多忙(研修・勉強会に参加できず)を挙げた者が全体の 20%弱でありトップであった。
- ・会費が高いと回答した者は 10%強であり理由の 3 番目であった。

(2) 研修提供及び受講における課題

<主催者側の課題>

- ・研修開催頻度など県士会間のばらつきが大きい
- ・基礎研修開催のためのマンパワーや財源等の負担があり、新たな研修開催への取り組みが難しい県士会もある

<受講者側の課題>

- ・集合研修は日時が決められているので都合があわなければ参加出来ない
- ・受講費、旅費、移動時間の負担が大きい(離島や広域県士会では顕著)

2 ICT を活用した e-ラーニング講義の概要

(1) インフラとしての ICT の活用

- ・会から個人会員への情報伝達手段として ICT を活用する
- ・ICT を活用して e-ラーニング講義等を提供する

(2) 本会が提供する e-ラーニング講義の概要

- ・県士会会員向けのパスワードを発行(生涯研修制度管理システムと同期させる予定)
- ・会員はパスワードを用いてシステムにログイン
- ・講義メニューから視聴したいメニューを選択(無料/有料の設定有り、有料の場合はクレジット決済)

- ・講義終了後、テストを実施（2016 年度は 3 問の選択問題を設定した）
- ・テストに合格すると、受講証明書のダウンロードが可能（1 回のみ）
- （3）e-ラーニング講義のメニュー
 - ・2016 年度に制作した講義及び 2017 年度制作予定の講義を別紙に示す。
- （4）e-ラーニングを実施している専門職団体
 - ・多くの専門職団体が e-ラーニングを提供している。
 - （例：日本弁護士連合会、司法書士会連合会、税理士会、弁理士会、日本医師会、日本看護協会、理学療法士協会、他）

3 e-ラーニング講義提供の意義やメリット

- （1）e-ラーニング講義提供の意義
 - ・すべての会員に自己研鑽の機会を保障することが可能となる。このことは社会福祉士及び介護福祉士法の資質向上の義務を担保することにもなる。
 - ・社会福祉士の全国的な底上げにも寄与することとなる。
- （2）会員のメリット（自己研鑽を支援する）
 - ・日時・場所を選ばずに e-ラーニング講義を受講できる。
 - ・さまざまな分野の講義メニューからの選択が可能となる。
- （3）本会及び県士会のメリット（研修運営の負担軽減）
 - ・集合研修の一部をカバーすることが可能（集合研修の講義時間の削減が可能）。将来的には移管した研修の e-ラーニング化を検討する。
 - ・新規制作する e-ラーニング講義は、全国生涯研修委員会等意見を開き、可能な範囲で反映させる。
- （4）入会促進・退会抑制に寄与する（組織強化）
 - ・アンケート結果にみられるように、日時・場所を選ばずに安価にさまざまな講義を受講できる環境を充実させることで、入会促進や退会抑制につなげることが可能となる。
- （5）情報伝達手段としての活用
 - ・システムを活用することで、講義の提供のみならずさまざまな情報の提供が可能となる。

4 運用費用

①運転費（年間）

システム運用期間	学習管理システム	ストリーミングサーバー	合計
年間運用	20 万円×12 ヶ月	18 万円×12 ヶ月	456 万円（税別）

- ・学習管理システムは、VOD コンテンツ（3 画面設定可能）、講義毎のオンラインテキストやオンラインテスト、オンラインアンケート、学習管理機能を有するシステム
- ・ストリーミングサーバーはストリーミング（音声や動画のファイルを受け取りながらリアルタイムで再生する技術）を配信するサーバー。同時アクセス 300 とした場合の費用。

②コンテンツ制作費

- ・原則、新しい情報をコンテンツとして提供することが必要。数年間使用したコンテンツは見直しが必要。
- ・90 分のコンテンツを制作 → 40 万円～50 万円/本 → 4～5 本制作 → 200 万円

③課金システム運用費

- ・決済システム使用料→7,000 円/月

5 提案事項

(1) 運用と運転資金について

- ・上記事項をふまえ、県士会会員は、原則、e-ラーニングコンテンツを無料視聴できることとする。ただし、受講費を徴収する研修会プログラムの一部として提供する場合は、有料視聴とする。
- ・財源は、会員支援及び組織強化対策として日本士会と県士会の全体で負担する。
- ・県士会には e-ラーニング講義を提供するための基盤となる事項（システム運転費と制作コンテンツのリバイス（改訂）費用）の負担をお願いしたい。連合体組織として各県士会共通の目的に向けて行う事業であることから、県士会の負担は 47 県士会均等負担を提案する。
- ・県士会がコンテンツを制作した場合、そのコンテンツをシステムに載せることを可とする。
- ・本会は新しいコンテンツの開発費を負担する。

(2) 具体的な負担額（案）

■ 県士会

500 万円（システム年間運用費）＋200 万円（制作済みコンテンツの改訂費用）
／47 県士会 → 150 千円／県士会負担

■ 日本士会負担

50 万円（新規コンテンツ制作費）×4～5 本 → 200 万円／本会負担

(3) 負担が難しい場合

- ・受益者負担として、e-ラーニング講座を有料視聴として提供する。

(4) 今後の予定及び意向調査について

- ・2017 年度は 12 月から e-ラーニング講座の開講を予定している。今年度については、社会福祉振興・試験センターの助成金で運用する予定である。
- ・2018 年度は助成金が見込めないことから、本提案で運用したいと考えている。予算検討が必要なことから、本提案について意向調査をしたいと考えている。

よくある質問

■ ICT を活用した研修提供等の基盤構築にかかる運営費負担金（年間 15 万円）について

Q 1 都道府県社会福祉士会負担金は何に使用されるのか。

A 1 システム運転費（年間）と制作したコンテンツのリバイス（改訂）費用に充当します。詳しくは参考資料 1 をご参照ください。

Q 2 負担金を負担した場合と負担しなかった場合の違いは何か。

A 2 2018 年度以降、負担いただいた場合は、所属する会員は提供する e-ラーニング講座（制度の動向等）が無料視聴できます（ただし、受講費を必要とする研修の一部を e-ラーニングで提供する場合は除きます）。負担されない場合は、所属する会員は提供する e-ラーニング講座が有料視聴となります（90 分の講座当たり 2,000 円程度の見込み）。なお、2017 年度は原則すべての講座を無料視聴できます。

Q 3 負担金について、賛同する都道府県社会福祉士会が少なかった場合、e-ラーニング講座の提供はどうなるのか。

A 3 e-ラーニング講座の視聴は有料となります。また、視聴期間（配信期間）を限定することを検討することになります。

Q 4 負担金について、賛同する都道府県社会福祉士会が 47 未満の場合、負担金額は増額されるのか。

A 4 増額はしません。

■提供するコンテンツについて

Q 5 どのようなコンテンツを視聴できるのか。

A 5 最新の制度の動向など専門職として必要な知識を中心に提供します。2017 年度に提供するコンテンツについては参考資料 3 をご参照ください。

Q 6 2018 年度以降、コンテンツのメニューはどのくらい増えるのか。

A 6 最新の制度の動向など、毎年 4~5 本以上は新規制作する予定です。また、全国生涯研修委員会議等で都道府県社会福祉士会から提供するコンテンツについて意見を聞きます。新たな情報提供についても検討を進めていく予定です。

Q 7 基礎研修に e-ラーニング講座を導入するのか。

A 7 基礎研修への導入は検討課題です。導入するためには認定社会福祉士認証・認定機構から認証を受けることが必要なため、2018 年度は適用しません。

Q 8 都道府県社会福祉士会からコンテンツを提供することは可能か。

A 8 可能です。ただし、一定のルールが必要となりますので、今後、ガイドラインを検討する予定です。

平成 30 年度補正予算について

以下の補正予算案について理事会の承認を求めます

(提案理由) 平成 30 年度事業実施の確定に伴うもの

(補正内容) 平成 30 年度予算において、以下の科目を変更する

平成 30 年度 補正予算書 (案)

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位はすべて円)

収入の部

科目			補正前予算額	補正額	補正後予算額	備考
大項目	中項目	小項目				
2	事業費		24,272,000	126,365	24,398,365	
	6	その他の事業	12,580,000	126,365	12,706,365	
		7 居住確保支援事業	12,000,000	126,365	12,126,365	受託事業実施額が確定したため
総計			50,090,000	126,365	50,216,365	



一般社団法人 千葉県社会福祉士会

第6回定時総会

資 料

日 時：2018年6月24日(日) 13:30～（受付13:00～）

会 場：ホテルリブマックス千葉美浜 2階 会議室

次 第

□開会

□会長挨拶

□議長選出

□議事

議案第 1 号 2018 年度事業報告及び決算報告について …… 1

(2017 年度監事監査報告書)

議案第 2 号 定款の変更について…………… 3 4

議案第 3 号 役員の選任について…………… 3 5

総会に諮る事項は定款第 21 条に定められた事項に限られ、また法人法第 49 条第 3 項の規定により予め通知した事項以外を議決することはできません。

会員から本会へ意見発信する機会を保証するため、議案に対する意見募集を行います。

議案に対しご意見のある方は、本会 Web サイト (<http://www.cswchiba.com/>) を参照の上
2018 年 5 月 21 日(月)から同 6 月 4 日(月)必着でご提出願います。

また郵送・ファックスでもご意見を承りますので、千葉県社会福祉士会事務局までご提出
ください。

なお、寄せられたご意見は取りまとめの上、会員氏名（姓のみ）および意見内容を Web
サイトおよび総会会場にて公開いたします。予めご了承下さい。

<議案に対するご意見のご提出先>

※2018 年 6 月 4 日(月)必着

名称：一般社団法人 千葉県社会福祉士会 事務局

住所：〒260-0026 千葉市中央区千葉港 7 番 1 号

塚本千葉第 5 ビル

FAX：043-238-2867

議案第 1 号

2017 年度事業報告及び決算報告について

以下に掲載する 2017 年度事業報告書及び決算報告について、総会の承認を求めます

2017 年度 事業報告

2017 年度は様々な社会変化のもとで相談援助を専門とする社会福祉士の役割が益々求められ、職能団体としての資質もこれまで以上に必要となった年度であった

このような時期に本会は引き続き千葉県内における社会福祉の増進に寄与すべく、福祉サービスの質の向上にむけた各種事業はもとより、県民を対象とした相談事業、虐待防止、権利擁護、司法福祉、災害対策などの活動を通じて社会福祉に関する知識及び技術の普及、啓発等の公益を目的とした活動を実施した。また、それらの活動の基盤となる組織の強化や周知を図るため、我々と同様にソーシャルワークを実践している千葉県医療ソーシャルワーカー協会や千葉県精神保健福祉士協会とも連携して、若い世代に対する教育や募集活動を通して人材の育成と確保に寄与する取り組みについても実践してきた

1. 総会及び理事会の開催と会の運営

【総会】

第 5 回定時総会

2017 年 6 月 18 日(日)ホテルリブマックス千葉美浜 2 階中会議室

議案第 1 号 2017 年度補正予算について

議案第 2 号 平成 28 年度事業報告及び決算報告について
(平成 28 年度監事監査報告書)

議案第 3 号 役員の選任について

第 1 回臨時総会

2018 年 3 月 11 日(日)ホテルリブマックス千葉美浜 2 階中会議室

議案第 1 号 2018 年度事業計画について

議案第 2 号 2018 年度予算について

議案第 3 号 定款の変更について

議案第 4 号 役員の選任について

報告第 1 号 理事候補者選出選挙の結果について

報告第 2 号 代議員選挙の結果について

【理事会】

第 1 回理事会

日時 2017 年 5 月 14 日(日) 塚本千葉第 5 ビル 3 階事務局会議室

出席者 渋谷・相澤・奥野・大浦・岡本（武）・樽林・山口（利）・浅見・小川・鈴木・宮本・川上・常陸谷・田中・近藤・山口（定）・岡本（崇）

<議事・報告>

- ・ 外部理事の退任について
- ・ 外部理事の選任について
- ・ 第5回定時総会議案等について
- ・ 臨時総会における代議員以外の会員からの意見の取扱いについて
- ・ 社会福祉士勤務状況実態調査に関するアンケート（案）について
- ・ 代議員制度について

第2回理事会

日時 2017年6月18日(日) ホテルリブマックス千葉美浜2階中会議室

出席者 渋谷・奥野・大浦・岡本（武）・樽林・山口（利）・浅見・小川・鈴木・川上・常陸谷・池亀・山下・田中・近藤・山口（定）・岡本（崇）

<議事・報告>

- ・ 松戸事業の人員配置について
- ・ 選任理事取り下げについて
- ・ 千葉県社会福祉士会選挙管理委員会の公募について

第3回理事会

日時 2017年7月30日(日) 塚本千葉第5ビル3階事務局会議室

出席者 渋谷・相澤・奥野・大浦・岡本（武）・樽林・竹嶋・山口（利）・小川・鈴木・常陸谷・池亀・田中・岡本（崇）

<議事・報告>

- ・ 公益目的支出計画実施報告書の件
- ・ 地域集会の費用補助の件
- ・ ささえあい資金の活用について
- ・ 松戸事業 職員の増員について
- ・ 事業計画、予算案の理事会決議への変更を進める案について
- ・ 災害時のメール配信の件

第4回理事会

日時 2017年9月10日(日) 塚本千葉第5ビル3階事務局会議室

出席者 渋谷・相澤・奥野・大浦・岡本（武）・竹嶋・小川・鈴木・川上・常陸谷・池亀・山口（定）・岡本（崇）・山本尚江（オブザーバー）

<議事・報告>

- ・ 選挙管理委員会委員理事会推薦について
- ・ 日本会への会員事務委託解除について
- ・ 綱紀案件取扱いにかかる日本会への再委託について
- ・ 綱紀案件取扱いにかかる作業部会の設置について

第5回理事会

日時 2017年11月19日(日) 塚本千葉第5ビル3階事務局会議室

出席者 渋谷・奥野・大浦・岡本(武)・浅見・小川・鈴木・宮本・常陸谷・近藤・田中・
岡本(崇)・山本(オブザーバー)

＜議事・報告＞

- ・ 2018年度事業計画について
- ・ ささえあい配分承認について

第6回理事会

日時 2018年1月21日(日) 塚本千葉第5ビル3階事務局会議室

出席者 渋谷・奥野・大浦・岡本(武)・竹嶋・樽林・浅見・小川・鈴木・宮本・川上・常陸谷・
山口(定)・岡本(崇)・山本(オブザーバー)

＜議事・報告＞

- ・ 福祉と司法の千葉県連絡協議会の規約について
- ・ 2018年度事業計画の記載方法について
- ・ 地域集会開催要綱の別表追加について
- ・ ぱあとなあ千葉名簿登録規程の一部追加及び変更について
- ・ 法人後見の業務に関する規程・細則の変更について
- ・ 会員資格の喪失に伴う退会手続きについて

第7回理事会

日時 2018年3月11日(日) ホテルリブマックス千葉美浜2階中会議室

出席者 渋谷・相澤・奥野・大浦・岡本(武)・樽林・山口(利)・浅見・小川・鈴木・宮本・
川上・常陸谷・近藤・田中・岡本(崇)

＜議事・報告＞

- ・ 理事の欠員について
- ・ 監事候補者の選出について
- ・ 規程の変更について
- ・ 第1回臨時総会へのご意見に対する回答について
- ・ 臨時総会の進行について
- ・ 日本社会福祉士会への捜査機関への社会福祉士配置案に対しての公開要望書について

2. (公社) 日本社会福祉士会への活動参加

【研修会議等】

- 2017年4月29日(土)、2017年11月23日(木)関東甲信越ブロック社会福祉士災害連携会議
出席者：常陸谷政彦氏
- 2017年5月13日(土)～14日(日) 2017年度 都道府県ぱあとなあ連絡協議会
出席者：櫻井勉氏、小川晴雄氏、鈴木勝英氏
- 2017年5月23日(火)内閣府成年後見制度利用促進基本計画説明会
出席者：高美修次氏

- 2017 年 6 月 10 日(土) 2017 年度 未成年後見人養成研修
出席者：亀田和子氏、石橋大輔氏
- 2017 年 6 月 17 日(土)、2018 年 2 月 17 日(土) 第 30 回通常総会及び 2017 年度第 1 回、第 2 回関東甲信越ブロック連絡協議会
出席者：渋谷茂会長
- 2017 年 8 月 4 日(金)～5 日(土) 2017 年度 意思決定支援に配慮した成年後見活動のためのツール伝達研修
出席者：奥野不二子副会長
- 2017 年 9 月 2 日(土)～3 日(日) 2017 年度 都道府県社会福祉士会会長会議
出席者：相澤雅則副会長、奥野不二子副会長（会長代理として）
- 2017 年 9 月 16 日(土) 虐待対応専門職チーム経験交流会
出席者：朽名高子氏
- 2017 年 9 月 30 日(土)～10 月 1 日(日) 2017 年度司法福祉全国研究集会／
2017 年度司法福祉担当者 研修・交流会
出席者：大浦明美副会長
- 2017 年 10 月 14 日(土) 2017 年度 ばあとなあ関東甲信越ブロック連絡会
出席者：奥野不二子副会長、小川晴雄氏、四ノ宮章氏
- 2017 年 11 月 23 日(木)、12 月 2 日(土) 2017 年度 基礎研修講師養成研修
出席者：宮本哲男氏、石山明子氏、大橋輝己氏、宮下朱実氏
- 2017 年 10 月～2018 年 12 月 日本社会福祉士会 高齢者虐待防止研修マニュアル改訂検討プロジェクトチーム
出席者：田中悦子氏
- 2018 年 3 月 17 日(土)2017 年度 日本社会福祉士会臨時総会
出席者：奥野不二子副会長（会長代理として）
- 日本社会福祉士会 多文化ソーシャルワークプロジェクト
委員推薦：南野奈津子氏
- 成年後見制度利用促進基本計画協議連絡
出席者：鈴木勝英氏
- 2017 年度 スーパービジョン研修～経過的対応～
出席者：川島隆太氏
- 2017 年度 生涯研修委員 登録：浅見雅人氏
- 2017 年度 実習指導者講習会担当 登録：浅見雅人氏

本会が推薦した各種委員等

【外部委員（推薦）】

- 千葉市社会福祉協議会 日常生活自立支援事業契約締結審査会、法人後見業務審査会及び市民後見人審査会委員推薦：鈴木勝英氏
- 松戸市地域ケア会議委員推薦：齋川英文氏
- 市川市審判請求対象者検討会推薦：小川晴雄氏、吉田愛子氏、今川純子氏
- 千葉県介護支援専門員協議会
理事推薦：五十嵐伸光氏、山口定之氏、渡辺哲也氏

代議員推薦：井田英宏氏、田村信之氏

予備代議員推薦：高田俊彦氏、吉田愛子氏

- 千葉県障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」に基づく地域相談員推薦：宮本哲男氏、朽名高子氏
- 浦安市社会福祉協議会理事推薦：佐藤光男氏
- 千葉県 2017 年度千葉県地域リハビリテーション協議会員推薦：石山明子氏
- 市川市社会福祉協議会 専門職後見人によるアドバイザー推薦：今川純子氏
- 我孫子市社会福祉協議会 法人後見運営委員会運営委員推薦：片野無事生氏
- 我孫子市保健福祉サービス調整委員推薦：南野奈津子氏
- 八街市地域包括支援センター運営協議会委員および八街市介護保険地域密着型サービス運営協議会委員：山口美恵子氏
- いすみ市社会福祉協議会 法人後見事業運営委員：北山静香氏
- 匝瑳市社会福祉協議会 法人後見運営委員会：常陸谷政彦氏
- 茂原市 茂原市地域包括支援センター運営協議会委員：渋沢茂会長
- 柏市 柏市地域包括支援センター運営協議会委員：奥野不二子副会長
- 柏市 柏市健康福祉審議会高齢者健康福祉専門分科会委員：奥野不二子副会長

【講師派遣・外部講師依頼】

- 2017 年 5 月 17 日(水) 神崎町地域包括支援センター 成年後見制度について
講師：佐野由佳里氏
- 2017 年 7 月 21 日(金)、12 月 22 日(金)、2018 年 3 月 16 日(金)
仙台市役所 障害者差別解消担当相談員事例検討会
講師：朽名高子氏
- 2017 年 9 月 9 日(土)、2017 年 12 月 9 日(土)
一般社団法人社労士成年後見センター千葉成年後見人養成研修、成年後見人更新研修
講師：小川晴雄氏
- 2017 年 10 月 24 日(火) 流山市役所 成年後見制度に関する研修会
講師：奥野不二子副会長
2017 年 11 月 25 日(土) 浦安市社会福祉協議会 市民後見人養成講座
講師：櫻井勉氏、佐野由佳里氏
- 2018 年 1 月 25 日(木) 北柏地域包括支援センター 地域包括ケアシステムネットワーク会議
「成年後見制度について」
講師：四ノ宮章氏
- 2018 年 2 月 19 日(月)、27 日(火)
山武市社会福祉協議会 市民後見人フォローアップ研修
講師：小川晴雄氏、四ノ宮章氏
- 2018 年 3 月 7 日(水) 茂原市社会福祉協議会 法人後見支援人養成講座
講師：北山静香氏

3. 後援・協賛

- 2017年6月4日(日)「第8回千葉県認知症ケア専門士会 基調講演」 「パーソン・センタード・ケアの理念」 ～認知症の人と共に生きる～ 後援名義使用/千葉県認知症ケア専門士会
- 2017年6月11日(日)「吃音を考えるつどい」/特定非営利活動法人 千葉言友会
- 2017年7月2日(日)「子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 千葉」/公益財団法人あすのば
- 2017年7月9日(日)、2017年11月11日(土)
2017年度第1回、第2回福祉のしごと就職フェア・in ちば/千葉県社会福祉協議会
- 2017年9月9日(土)、2018年2月17日(土)
「自閉症基礎研修」「事例検討グループワーク」/社会福祉法人 大成会(不二学園)
- 2017年9月30日(土)「訪問介護フォーラム2017」/千葉県介護福祉士会
- 2017年10月7日(土)「第11回認知証メモリーウォーク・千葉」/認知証メモリーウォーク千葉実行委員会
- 2017年10月21日(土)「千葉県地域生活連携シートに関する研修会」
/市原地域リハビリテーション広域支援センター
- 2017年11月3日(金)「千葉県がん患者大集合2017」/
千葉県がん患者大集合2017実行委員会
- 2017年11月12日(日)「ちば県民いい歯とお口の健康ウィーク～いい歯のイベント2017～」/
千葉県歯科医師会
- 2017年11月14日(火)「第67回千葉県福祉大会」/千葉県社会福祉協議会
- 2017年12月9日(土)「第4回安房地域包括ケア推進セミナー」についての協力/
鴨川市福祉総合相談センター
- 2017年12月10日(日)「第15回房総(海匝地区)地域福祉実践研究セミナー」/
匝瑳市社会福祉協議会
- 2018年1月19日(金)「第2回だれもが住みやすい街づくりフォーラム from 千葉」/
千葉県手をつなぐ育成会事業所協議会
- 2018年3月11日(日)「第19回千葉県作業療法士学会」/千葉県作業療法士会
- 2017年11月20日(回答日)「精神障害者も千葉県重度心身障害者医療費助成制度の対象とする要望」/賛同回答/NPO法人 千葉県精神障害者家族連合会

4. 共催事業

- 2017年9月11日(月)、11月1日(水)、12月23日(土) 千葉県弁護士会
福祉と司法の連絡協議会：渋沢茂会長、大浦明美副会長、竹嶋信洋事務局次長、小川晴雄氏、常陸谷政彦氏
- 2018年2月25日(日) 「笑って学べる！誰でもわかる成年後見早わかり講座」/
千葉県弁護士会・千葉司法書士会・成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部・千葉県社会福祉協議会・千葉市社会福祉協議会・千葉県社会福祉士会
- 2018年2月27日(火) 千葉県弁護士会 災害対策士業等連絡協議会
渋沢茂会長、常陸谷政彦氏

5. その他の活動

【千葉県】

- 2017年5月10日(水) 第67回“社会を明るくする運動”
千葉県推進委員会会議：大浦明美副会長
- 2017年8月8日(火) 千葉県教育庁教育振興部指導課
千葉県いじめ問題対策連絡協議会：大浦明美副会長
- 2017年9月12日(火) 第10回千葉県福祉人材確保・定着推進協議会：
相澤雅則副会長（会長代理として）
- 2017年10月6日(金)、2018年3月14日(水)
2017年度千葉県地域リハビリテーション協議会：石山明子氏
- 2017年11月29日(水) 千葉県健康福祉部 障害福祉課 2017年度千葉県高次脳機能障害支援
ネットワーク連絡協議会：奥野不二子副会長（会長代理として）
- 2018年2月9日(木)、3月22日(木) 千葉県健康福祉部 健康福祉指導課
千葉県ホームレス自立支援推進会議：山崎泰介氏

【千葉県社会福祉協議会】

- 2017年6月1日(木)、2018年1月16日(火)、3月28日(水)
千葉県社会福祉協議会第1回、第3回、第4回理事会：渋沢茂会長
- 2017年6月29日(木)、2017年11月11日(土) 千葉県社会福祉協議会
2017年度「福祉のしごと就職ガイダンス」Part1、Part2 相談員：西沢将行氏
- 2017年7月5日(水) 千葉県社会福祉協議会
2017年度成年後見制度利用促進シンポジウム シンポジスト：高美修次氏
- 2017年7月9日(日)、2017年11月11日(土) 千葉県社会福祉協議会
2017年度第1回、第2回「福祉のしごと就職フェア・in ちば」
相談員：山本誠一氏、小倉亜津子氏、西沢将行氏、辻村雄司氏
- 2017年9月6日 千葉県社会福祉協議会 2017年度千葉県コミュニティソーシャルワーカー
育成研修プログラム内ミニシンポジウムでの実践報告
シンポジスト：平野香氏
- 2017年10月4日(水)、2018年3月9日(金) 千葉県社会福祉協議会
2017年度千葉県後見支援センター関係機関連絡会：小川晴雄氏
- 2017年11月14日(火) 千葉県社会福祉協議会
「第67回千葉県福祉大会」：竹嶋信洋氏（会長代理として）
- 2018年3月22日(木) 千葉県社会福祉協議会
千葉県災害ボランティアセンター連絡会定例会議：常陸谷政彦氏

【その他】

- 2017年4月4日(火) 2017年度淑徳大学入学式：相澤雅則副会長
- 2017年5月20日(土) 千葉司法書士会
2017年度定時総会及び懇親会：小川晴雄氏
- 2017年5月24日(水) 千葉県介護保険関係団体協議会
2017年度総会及び幹事会：相澤雅則副会長（会長代理として）

- 2017年5月24日(水)、10月13日(金)、11月8日(水)
2018年1月24日(水)、2月23日(金)、3月9日(金)
市川市役所 障害者支援課、介護福祉課 市川市審判請求対象者検討会
出席者：今川純子氏、小川晴雄氏、吉田愛子氏
- 2017年5月28日(日) 千葉県介護福祉士会
2017年度千葉県介護福祉士会総会：相澤雅則副会長（会長代理として）
- 2017年7月28日(金) 千葉県在宅サービス事業者協議会
「2017年度総会に伴う講演会・懇親会」：奥野不二子副会長（会長代理として）
- 2017年8月18日(金)、2018年1月26日(金) 佐倉市福祉部高齢者福祉課
成年後見制度利用促進基本計画に基づく市町村計画策定に向けた意見交換会
出席者：高美修次氏
- 2017年9月11日(月) 千葉県地域生活定着支援センター
2017年度地域生活定着支援事業関係機関会議：小野恵美子氏
- 2017年9月20日(水) 千葉市社会福祉協議会
社会福祉士相談援助実習生へ講義：竹嶋信洋氏
- 2017年9月24日(日) 一般社団法人千葉県医療ソーシャルワーカー協会
新協会設立記念式典：渋沢茂会長
- 2017年11月17日(金) 日本司法支援センター千葉地方事務所
2017年度法テラス千葉地方協議会：渋沢茂会長、大浦明美副会長
- 2017年11月22日(水) 千葉県国民健康保険直営診療施設協会
第66回千葉県国民健康保険直営診療施設医療学会：相澤雅則副会長（会長代理として）
- 2017年12月11日(月) 介護労働安定センター千葉支所
2017年度千葉県介護労働懇談会：相澤雅則副会長（会長代理として）
- 2018年1月11日(木) 市川市役所 介護福祉課
市川市高齢者虐待防止に関する会議：小川晴雄氏
- 2018年1月12日(金) 千葉県社会保険労務士会
新年賀詞交歓会：相澤雅則副会長（会長代理として）
- 2018年1月19日(金) 千葉県てをつなぐ育成会
第2回だれもが住みやすい街づくりフォーラム：渋沢茂会長
- 2018年3月15日(木) 2017年度淑徳大学卒業式
出席者：竹嶋信洋氏（会長代理として）

6. 各委員会・部会

(1) 総務委員会

① 企画部会

- ア 組織強化及び地域貢献のため広域、地区単位それぞれの会員交流会等の開催
今年度も県内各地の世話人の方により、組織強化の一環としても位置付けられる地域集会を開催した。また、定期総会後に行った代議員との名刺交換会の中で、地域集会についての意見が多数あったことから世話人会を開催し意見交換を行った。

地域集会を活性化していくために 2018 年度より地域集会で講師を依頼した際の謝礼への補助を行うこととしたほか、県内全域を対象とした地域集会を開催
地域集会の開催回数は、8 地区で延 17 回、参加人数は延 339 人

地域集会開催内容（順不同）

● 船橋・鎌ヶ谷地区

開催日：2017 年 6 月 24 日(日)

開催場所：船橋市勤労市民センター

参加人数：21 名

内容：生活困窮者自立支援制度について

開催日：2017 年 9 月 16 日(日)

開催場所：船橋市勤労市民センター

参加人数：23 名

内容：知的障がい者の親として～「私たちは、こんな後見人がほしい」

開催日：2017 年 12 月 9 日(日)

開催場所：船橋市勤労市民センター

参加人数：16 名

内容：言語聴覚士って何？ その役割は？

※県内全域の地域集会として開催

開催日：2018 年 3 月 17 日(日)

開催場所：船橋市勤労市民センター

参加人数：21 名

内容：障害者年金の手続きについて

※県内全域の地域集会として開催

● 佐倉・四街道・八街地区

開催日：2017 年 7 月 23 日(月)

開催場所：NPO 法人ほっとすぺーす・つき

参加人数：13 名

内容：LGBTQ の悩みは、生活の悩み～性の多様性の尊重と社会福祉士の関わり

開催日：2017 年 11 月 11 日(日)

開催場所：NPO 法人ほっとすぺーす・つき

参加人数：13 名

内容：RJ（Restorative Justice）修復的対話やられたらやり返す応報的なやり取りではなく、回復と和解を目指す取り組み

開催日：2018 年 3 月 17 日(日)

開催場所：NPO 法人ほっとすぺーす・つき

参加人数：11 名

内容：慰労と語り合い「ざっくばらんに語り合い、励まし合いの会」

● 夷隅・長生・茂原・勝浦地区

開催日：2017年6月24日(日)

開催場所：茂原市総合市民センター

参加人数：12名

内容：地域のみなさんを手伝いたい！～ひびき手伝い隊の取り組み～新しい地域包括支援体制を考える～社会福祉士の役割と今できること～

開催日：2017年10月6日(土)

開催場所：茂原市総合市民センター

参加人数：33名

内容：市役所内に配置された委託相談支援事業所の意義と役割 ～地域共生社会を考える～

開催日：2017年12月16日(日)

開催場所：茂原市総合市民センター

参加人数：33名

内容：たがやせ！共生社会の土づくり

● 山武・東金・芝山・横芝光・大網白里地区

開催日：2017年9月9日(日)

開催場所：東金市ふれあいセンター

参加人数：19名

内容：みんながお互いに支え合い喜び合い、共に生きる そんな大きな家族を目指す活動

開催日：2018年2月17日(日)

開催場所：武助

参加人数：24名

内容：私の街づくり～世界最強のままの挑戦～

※県内全域の地域集会として開催

● 市原地区

開催日：2017年6月9日(土)

開催場所：社会福祉法人 琢心会 デイサービスたつみの森

参加人数：22名

内容：琢心会の地域づくり実践報告

開催日：2017年11月24日(土)

開催場所：医療法人社団白金会 リハビリテーション病院さらしな

参加人数：17名

内容：地域生活連携シートを活用し、医療・介護関係者同士の連携の事例報告

● 安房・鴨川・館山・南房総地区

開催日：2017年12月8日(土)

開催場所：館山市地域包括支援センターたてやま

参加人数：21名

内容：スクールソーシャルワーカーって何？

● 千葉ちゅうおう（中央・若葉・緑）地区

開催日：2017年7月12日(木)

開催場所：魚民鎌取南口店

参加人数：15名

内容：情報交換会

● 印旛・白井・印西・成田・富里地区

開催日：2017年9月17日(月)

開催場所：白井市保健福祉センター

参加人数：25名

内容：成年後見制度について

イ 組織強化のための活動として他の職能団体との協働を研究する

千葉県医療ソーシャルワーカー協会（MSW）と千葉県精神保健福祉士協会（PSW）と連携の維持・強化を図るため、引き続き三団体での活動を行った

千葉県社会福祉協議会（千葉県福祉人材センター）が主催する「福祉のしごとセミナー」にて、今年度もソーシャルワーカーの一週間を紹介

三団体合同研修では「地域で生きる」を支援する～脱！個人的経験と勘のソーシャルワーク～をテーマとして実施した

・福祉のしごとセミナー

開催日：2017年7月9日(日)12：00～13：30

開催場所：幕張メッセ国際会議場

内容：「ソーシャルワーカーの1週間」と題して、MSW、PSW、CSW各会からスピーカーを選出 スケジュールを見せながらソーシャルワーカーの仕事を紹介する他、やりがい、失敗談、この仕事を目指す方へのメッセージなど

・三団体合同研修

開催日：2017年11月25日(土)13：30～17：00

開催場所：総武病院 ライブケアセンター

参加人数：43名

内容：「地域で生きる」を支援する ～脱！個人的経験と勘のソーシャルワーク～

講師：NPO法人おたがいさま理事長 大澤 直樹 氏

② 広報部会

ア 機関紙「点と線」発行 2017年度 年3回発行

会員や社会福祉士を目指す方が読んでいて元気になれる紙面づくりを心掛けている

会の活動内容については、社会問題に焦点をあてたテーマを深める一方、その問題解決に向けて多方面から支援へとつなげる社会福祉士の活動を紹介することで、ネットワークをはるための情報源を目指した

本年度は関係機関へ本会の活動を知ってもらうために関係機関への送付先を見直し追加した

・ 第 94 号《特集》「障害者差別解消法開始から 1 年」

司法福祉・基礎研修Ⅲを終えて得たもの・社会福祉士のわ 他

2017 年 7 月 12 頁 2,500 部発行 メール配信 465 件

・ 第 95 号《特集》「我が事」「丸ごと」

地域集会（長生・夷隅地区、佐倉・四街道・八街地区）

ワンアップ研修・社会福祉のわ 他

2017 年 11 月 12 頁 2,500 部発行 メール配信 469 件

・ 第 93 号《特集》「私のソーシャルワーク論」

地域集会（船橋・鎌ヶ谷地区）

広がれ こども応援のわ！・RUN 伴千葉体験記・社会福祉士のわ 他

2018 年 3 月 12 頁 2,500 部発行 メール配信 469 件

※ 送付先 会員 メール配信、郵送による会員への配布 関係機関 988 件（548 件追加）

関係団体や各地域包括支援センター、市町村社会福祉協議会、社会福祉士養成校等への配

イ ホームページの維持・管理

初めてのホームページを見た時に、情報を得やすいように、レイアウトの変更を行った

・ 本会主催の研修 46 件 本会主催以外の研修イベント等 91 件 求人情報 64 件 他

ウ 広報部会の開催

・ 編集会議、編集作業、発送作業（各年 3 回）

（2）総合相談委員会

① 地域包括支援部会

ア 高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業（受託事業）

今年度は日本社会福祉士会の開発した高齢者虐待対応ソーシャルワークモデルを用いた研修を 2 回実施 予算の中から会場費を捻出するのが難しかったが、部会委員のネットワークにより千葉西総合病院の会議室を無料で借りることができ無事に開催することができた

来年度も今年度と同様に研修を実施していきたいが、準備、当日のオペレーション、報告書等の作成までを部会員 1 人に任せっきりになっている現状があり、こうした状況を打破するためにも研修運営の協力をする部会員を増やしていきたい

・ 高齢者虐待防止対策研修

【管理職、初任者向け】

開催日：2017 年 7 月 24 日(月) 参加者 101 名

開催場所：千葉県庁

【第 1 回 現任者（市町村・地域包括職員向け）高齢者虐待対応ソーシャルワークモデル】

開催日：2017 年 8 月 31 日(木)参加者 71 名

2017 年 9 月 7 日 (木)参加者 70 名

2017 年 9 月 21 日(木)参加者 69 名

開催場所：ホテルリブマックス千葉美浜大会議室

【第2回 現任者（市町村・地域包括職員向け）高齢者虐待対応ソーシャルワークモデル】

開催日：2018年2月6日（火）参加者 50名

2018年2月13日（火）参加者 49名

2018年2月20日（火）参加者 47名

開催場所：千葉西総合病院アネックス館4階講堂

イ 高齢者虐待対応専門職チームへの参加（受託事業）

今年度もケース会議や講師の派遣回数は少なかったが、2016年度よりは若干増加したニュース等で取り上げられている施設従事者に対する啓発も含め、派遣回数を増やしていきたいが、虐待防止研修と同様に一部の委員に負荷がかかりすぎている現状がある

・ チームメンバー派遣回数

研修会講師：5回 個別ケース会議派遣：4回

・ 高齢者虐待対応チーム報告会

開催日：2018年3月19日（月） 会場：千葉県庁本庁舎

ウ 部会の開催

各部会員の予定が合わず、顔を合わせての打ち合わせは出来なかったが、サイボウズなどのサービスを利用して、適宜情報交換を行いながら部会の活動について議論してきた

② 相談事業部会

ア 無料相談事業

・ 福祉のしごと就職フェア

開催日：2017年7月9日（日） 会場：幕張メッセ

参加相談員：2名 相談件数：5件

内容：就職活動や資格取得方法などについて

開催日：2017年11月11日（土） 会場：幕張メッセ

参加相談員：2名 相談件数：4件

内容：資格取得、国家試験勉強方法などについて

・ 福祉のしごと就職ガイダンス

開催日：2017年6月29日（木）

2017年11月11日（土）

開催場所：千葉県福祉人材センター

内容：国家資格取得について講話、相談ブースを設けた個別相談

・ 習志野福祉ふれあい祭り

開催日：2017年10月28日（土） 習志野市

内容：成年後見制度、高齢者にかかわる制度について

イ 部会の開催

部会員の日程が合わず、今年度はメールによる報告とした

③ その他

・ 「広がれ、こども応援の輪！」

2016年度に実施した『広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー』の続編として、貧困や孤立など

の状況にある子どもたちを応援する活動を県内に広げることを目的に、社会福祉法人千葉県社会福祉協議会、NPO法人ちばこどもおうえんだん、一般社団法人千葉県社会福祉士会の3団体が実行委員会を結成してイベントを開催。来場者は熱心に説明に聞き入る姿などが見られ、関心の高さが伺えた。

開催日：2018年1月27日(土) 13:15～16:30

開催場所：船橋市中央公民館 6階講堂 参加者：252名

内容：講演（見えない貧困）・リレートーク・会場内ポスターセッション

（３）研修委員会

① 委員会・部会会議

ア 研修委員会 研修啓発部会会議

開催日：2017年9月18日(月)10:00～12:00

開催場所：千葉県社会福祉士会 事務局

出席者：浅見・宮本・梶原・矢戸・田尻・石山・大橋（輝）・小泉・鈴木・宮下・堀江

開催日：2018年2月4日(日)10:00～12:10

開催場所：千葉県社会福祉士会事務局

出席者：浅見・宮本・宮下・本石・矢戸・石山・助川・田尻・長嶋・高橋・鈴木・西村・梶原

② 研究大会 講演

開催内容がなかったため中止

③ 基礎研修

ア 基礎研修Ⅰ

開催日：2017年9月3日(日)、2018年2月11日(日)

開催場所：ホテルリブマックス千葉美浜

計2日間 修了者59名

イ 基礎研修Ⅱ

開催日：2017年5月28日(日)、2017年7月23日(日)、2017年8月20日(日)、
2017年9月24日(日)、2017年10月22日(日)、2017年11月26日(日)、
2018年1月28日(日)

開催場所：ホテルリブマックス千葉美浜 中会議室

開催日：2017年6月25日(日)、2017年11月12日(日)、2017年12月24日(日)、
2018年2月25日(日)

開催場所：千葉県社会福祉センター 大研修室

計11日間 修了者45名

ウ 基礎研修Ⅲ

開催日：2017年5月28日(日)、2017年7月23日(日)、2017年8月20日(日)、
2017年9月24日(日)、2017年10月22日(日)、2017年11月26日(日)、

2018年1月28日(日)

開催場所：ホテルリブマックス千葉美浜 小会議室

開催日：2017年6月25日(日)、2017年11月12日(日)、2017年12月24日(日)、
2018年2月25日(日)

開催場所：千葉県社会福祉センター 中研修室

計11日間 修了者17名

④ 東京成徳大学社会福祉士受験対策講座受託 講師派遣

全19科目 2017年11月4日(土)～12月16日(土)

講師名 (担当科目)

染野 貴寛 (社会福祉士になるための処方箋、社会理論と社会システム、保健医療サービス、人体の構造及び疾病、ヒトと国に誓う！社会福祉士資格)

堀江 亜希子 (心理学理論と心理的支援)

大澤 直樹 (福祉サービスの組織と経営、福祉行財政と福祉計画)

岡田 英明 (権利擁護と成年後見制度、地域福祉の理論と方法)

犬伏 謙介 (更生保護制度)

西澤 将行 (障害者に対する支援と障害者自立支援制度、就労支援サービス)

石山 明子 (社会調査の基礎、相談援助の基盤と専門職)

浅見 雅人 (高齢者に対する支援と介護保険制度)

岡本 崇広 (児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、相談援助の理論と方法ⅠⅡ)

安藤 宏之 (心理学理論と社会システム、低所得者に対する支援と生活保護制度)

立川 大輔 (社会保障、現代社会と福祉)

⑤ 和洋女子大学社会福祉士受験対策講座受託 講師派遣

全19科目 2017年9月22日(金)～12月8日(木)

講師名 (担当科目)

山崎 泰介 染野 貴寛 (受験する人のためになる受験法)

染野 貴寛 (社会福祉士になるための処方箋、社会理論と社会システム、保健医療サービス、人体の構造及び疾病、ヒトと国に誓う！社会福祉士資格)

堀江 亜希子 (心理学理論と心理的支援)

大澤 直樹 (福祉サービスの組織と経営、福祉行財政と福祉計画)

岡田 英明 (権利擁護と成年後見制度、地域福祉の理論と方法)

犬伏 謙介 (更生保護制度)

西澤 将行 (障害者に対する支援と障害者自立支援制度、就労支援サービス)

石山 明子 (社会調査の基礎、相談援助の基盤と専門職)

浅見 雅人 (高齢者に対する支援と介護保険制度)

岡本 崇広 (児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、相談援助の理論と方法ⅠⅡ)

安藤 宏之 (心理学理論と社会システム、低所得者に対する支援と生活保護制度)

立川 大輔 (社会保障、現代社会と福祉)

⑥ 養成・教育機関との連携事業

題名：卒後教育と人間開発Ⅰ（前半 後半）

開催日：前半 2017 年 4 月 13 日(水)～7 月 27 日(木)

後半 2017 年 9 月 14 日(木)～12 月 21 日(木)

開催場所：淑徳大学

講師：本会会員、淑徳大学教員、学外講師

⑦ ジェーシー教育研究所 Web 模試問題作成他

模試問題作成（150 問）・国家試験解答分析（速報）・国家試験解答解説（150 問）

⑧ 社会福祉士実習指導者講習会

開催日：2017 年 11 月 13 日(月)、2017 年 11 月 14 日(火)

開催場所：ホテルリブマックス千葉美浜

計 2 日間 修了者 48 名

⑨ 社会福祉士実習指導者フォローアップ研修

講師及び日程の調整困難にて開催中止

⑩ ワンアップ研修

開催日：2017 年 6 月 18 日(日)、2017 年 7 月 9 日(日)

開催場所：カイホームデイサービス

計 2 日間 参加者 10 名

⑪ ファシリテーター研修

開催日：2017 年 6 月 24 日(土)

開催場所：千葉県社会福祉センター中研修室

計 1 日間 参加者 22 名

⑫ 千葉県生涯研修センター 会議

開催が調整難航であった為、主な生涯研修制度の関連研修は研修委員会へ委託

(4) 権利擁護センターばあとなあ千葉運営委員会

権利擁護センターばあとなあ千葉は、判断能力が不十分な方々の生活や権利を守るための活動を重要な使命と考え、成年後見制度の普及・啓発活動、成年後見等の受任要請に応える体制づくり、権利擁護に関する相談事業などを実施した

会員が安心して後見活動に従事できるよう指導・監督体制の見直しを行い、研修内容の検討、「ささえあい制度」負担金のあり方、活動報告書の見直し、併せて会員が直面する具体的リスクの検討など様々な課題を運営委員会や各部会で取り組み、適切な後見活動が行えるように支援した

また、本年度から成年後見人養成研修が変わり、「成年後見人材育成研修」と「名簿登録研修」に分けて成年後見人等候補者の養成をおこなっていく

① ばあとなあ千葉運営委員会の開催

千葉県社会福祉士会事務局会議室にて、臨時開催を含め計 7 回開催

第 1 回運営委員会

開催日：2017年4月5日(水) 17:00～19:20

出席者：井部・今川・小川・奥野・片野・櫻井・篠田・四ノ宮・鈴木・高美・辻村・出口・服部・
常陸谷・吉田

内容：2016年度総括及び2017年度事業計画について
未成年後見人の取り組みについてなど

第2回運営委員会

開催日：2017年6月21日(水) 14:00～16:00

出席者：今川・小川・奥野・片野・櫻井・篠田・四ノ宮・鈴木・高美・田中・出口・服部・
常陸谷・吉田

内容：コーディネーター部会部員選任、ささえあい制度利用申請審査、利用促進基本計画と専門職
団体としての係わり、「ささえあい制度」資金の取扱いなど

第3回運営委員会

開催日：2017年8月5日(土) 17:00～18:30

出席者：井部・今川・小川・片野・櫻井・佐野・篠田・四ノ宮・鈴木・高美・田中・辻村・
服部・常陸谷・吉田

内容：全体会のまとめ、平成30年度ぱあとなあ千葉組織体制・事業予算、成年後見制度利用促
進基本計画の取り組みについてなど

第4回運営委員会

開催日：2017年10月4日(水) 17:00～19:30

出席者：井部・今川・小川・奥野・片野・櫻井・篠田・四ノ宮・田中・辻村・服部・常陸谷・
福島・吉田

内容：ささえあい制度・ぱあとなあ千葉名簿登録規程について、2018年活動報告書の変更につ
いて、綱紀委員会、民法改正など

第5回運営委員会

開催日：2017年12月6日(水) 16:00～18:20

出席者：今川・小川・奥野・片野・櫻井・篠田・四ノ宮・鈴木・田中・辻村・服部・福島・吉田
内容：ささえあい制度・ぱあとなあ千葉名簿登録規程について、2018年活動報告書の変更の件
など

第6回運営委員会

開催日：2018年2月9日(金) 16:00～18:30

出席者：今川・小川・奥野・片野・櫻井・篠田・四ノ宮・鈴木・高美・辻村・服部・吉田

内容：未成年後見人候補者推薦依頼の件、ささえあい制度資金の適用申請書の件、活動報告書、
法人後見監査の件、全体会の取扱いの件など

臨時運営委員会

開催日：2018年2月26日(月) 13:30～16:30

出席者：今川・小川・奥野・片野・櫻井・佐野・四ノ宮・鈴木・高美・辻村・吉田

内容：ささえあい制度利用申請時の添付書類や、ささえあい制度と支給金額についてなど

② 部会活動

<研修部会>

ア 成年後見人材育成研修（委託研修）

受講修了者：12名（茨城県3名含む） 昨年度46名

開催日：7月22日、8月25日、9月23日、10月21日

会場：千葉県社会福祉研修センター

1日目：2017年7月22日（土） 9：00～17：40

「研修ガイダンス」

ばあとなあ千葉 奥野不二子

「成年後見制度の解説」

リーガルサポート

佐々木康人 千葉県支部長

「成年後見活動における判断能力のとらえ方」

木村病院 渡邊博幸院長

「社会福祉士と成年後見～権利擁護の視点から」

ばあとなあ千葉 小川晴雄

2日目：2017年8月25日（金） 9：00～17：00

「財産法の基礎」

千葉県弁護士会 北村謙介

「財産管理のための知識」

千葉県弁護士会 中村恒平

「後見事務の実際1」

（報告）ばあとなあ千葉 中山達雄

（解説）千葉県弁護士会 中村恒平

「家庭裁判所の実務の理解」

千葉家庭裁判所 堀込秀司 高井広樹

3日目：2017年9月23日（土） 9：00～17：00

「家族法の基礎」

千葉県弁護士会 樋口貴之

「身上監護のための知識」

ばあとなあ千葉 佐野由佳里

「後見事務の実際1」

（報告）ばあとなあ千葉

染川章子、吉武美樹

（解説）ばあとなあ千葉 佐野由佳里

4日目：2017年10月21日（土） 9：00～17：00

「演習1 ニーズの把握と対応」ばあとなあ千葉 四ノ宮章

「演習2 ネットワーク活用による権利擁護」ばあとなあ千葉 四ノ宮章

演習チューター 出口紀子

「今後の活動について」

ばあとなあ千葉 櫻井勉

イ 名簿登録研修

受講修了者：15名

開催日：2017年11月18日（土） 9：00～17：00

会場：千葉県社会福祉研修センター

「都道府県ばあとなあ仕組みと受任の実際」

ばあとなあ千葉 櫻井勉

「受任後の実務」

ばあとなあ千葉 櫻井勉

「後見人のリスクマネジメント」

ばあとなあ千葉 高美修次

「後見計画策定演習」

ばあとなあ千葉 高美修次

演習チューター 田中達也

ウ 必須登録員研修（2017年度から年3回実施 会場は千葉県社会福祉研修センター）

第1回 2017年6月17日(土) 参加者 105名

「相続人に関するトラブル対策と負債の処理」

リーガルサポート千葉県支部 酒井伸明

「後見人の財産管理のポイント」

千葉県税理士会 桐谷美千子

第2回 2017年11月23日(木) 参加者 105名

第1回と同じ内容で実施

第3回 2018年2月3日(土) 参加者 64名

「意思決定支援に基づく権利擁護実践研修」

ばあとなあ千葉運営委員会 担当チーム

エ レベルアップ研修（2017年度から年2回実施 会場は千葉県社会福祉研修センター）

第1回 2017年6月3日(土) 参加者 24名

「未成年後見について学ぶ」

(公社) 家族問題情報センター

千葉ファミリー相談室

第2回 2017年9月10日(日) 参加者 21名

「児童相談所の役割と未成年後見の課題について」

千葉県児童相談所

オ 第17回支援者のための成年後見制度活用講座

参加者：24名

開催日：2017年6月13日(火)、14日(水)

会場：DC会館

講師：千葉家庭裁判所、千葉県後見支援センター、ばあとなあ千葉運営委員会

カ 千葉サポート

講師：ばあとなあ千葉運営委員、登録員等

回数	実施日	参加者	テーマ	講師
第1回	4/23(日)	27名	家裁初回報告について	片野無事生
第2回	5/27(土)	27名	第1回報酬申立について (成年後見利用支援事業含む)	辻村雄司
第3回	7/29(土)	47名	死後の事務と相続人への財産引き渡しについて	片野無事生
第4回	9/30(土)	32名	事例検討	吉武美樹
第5回	10/28(土)	49名	法テラスについて・債務処理について	法テラス
第6回	11/25(土)	28名	ヒヤリハット事例について（活動報告書から）	吉田愛子
第7回	12/23(土)	40名	居住用不動産処分（事例を交えて）	櫻井 勉
第8回	1/21(日)	52名	確定申告について・活動報告書記入について	服部 明
第9回	2/24(土)	34名	事例検討	佐野由佳里

キ 弁護士との事例検討会

講師：千葉県弁護士会

回数	実施日	参加者	テーマ	講師
第1回	5/27(土)	8名	負債の処理について	佐久間貴幸
第2回	6/10(土)	17名	遺言書について	都田和義
第3回	7/29(土)	16名	相続財産引き渡しにおける法的課題について	若林義和
第4回	9/30(土)	12名	後見人の過失と不作为の相違について	飯島勝義
第5回	10/28(土)	11名	各種依存症の法律問題について	佐久間水月
第6回	11/4(土)	16名	意思能力と事理弁識能力について	神保正宏
第7回	12/23(土)	10名	死後の事務について	南川麻由子
第8回	2/24(土)	8名	精神障害者・未成年後見の法的課題について	安井飛鳥
第9回	3/3(土)	13名	テーマ設定なし（フリー）	萩原徳誉

<コーディネーター部会>

成年後見人等の候補者選考、電話相談、訪問相談等、受任者支援や電話相談に関連する業務を実施

ア コーディネート機能の充実を図るため、毎月2回、4名のコーディネーターで実施

受任要請件数 321件（前年度253件） 受任件数 307件（前年度214件）

※ 受任要請件数には、市長村（28件）社協等（3件）電話相談（15件）が含まれる

※ 要請件数より受任件数が少ないのは、推薦中に本人死亡（5件）・辞退（9件）・保留中・相談のみ・家裁申立に至ってない等々があるため

イ 成年後見の受任状況（平成30年1月末現在）

今年度総数 1,045 件（昨年度総数 923 件）

法定後見受任 1,010 件（前年度 882 件）

任意後見受任 31 件（前年度 36 件）

後見監督人受任 4 件（前年度 5 件）

法人後見受任 1 件（前年度 1 件）

<業務管理部会>

活動報告書の精査や個別面談など登録員への助言・指導・監督、ぱあとなあ名簿および内部監査に関連する及び法人後見に関する業務を実施

ア 受任者面接について

日時：6月から8月まで

対象者：約40名

場所：千葉県社会福祉士会事務局会議室

イ 受任者面接をおえて（報告・検討）

- ・ 報告書の記入の仕方、注意点の周知を図る
- ・ 今後の対応（規則・規程の検討、面接時の質問内容の整理）
- ・ 登録会員に対する「指導・監督体制」の見直しと対応について

ウ 活動報告書の変更について検討

- ・ 財産目録

エ 法人後見監査の取組み

- ・ 「法人後見チーム」のチーム長を業務管理部会長が兼ねるので、他の部会と連携してあるべき監査の在り方や運営状況を検討していく

<リスクマネジメント部会>

成年後見人等の活動において共通する課題（リスク）への対応について、対応策の検討に関する業務を実施

開催日:2017年5月18日(木)17:00～19:00

出席者:片野、櫻井、四ノ宮、服部、常陸谷

- I. 専門職としての社会福祉士後見人の役割
- II. 「成年後見制度利用促進法」に基づく計画への専門職団体としての関与
- III. 被後見人死亡後の相続人への財産引き渡し関連トラブルへの対応
- IV. 「家庭裁判所への候補者推薦基準」の見直し

開催日:2017年7月27日(木)17:00～19:00

出席者:小川、片野、四ノ宮、高美、田中、服部、常陸谷

- I. 専門職としての社会福祉士後見人の役割
- II. 「成年後見制度利用促進法」に基づく計画への専門職団体としての関与
- III. 被後見人死亡後の相続人への財産引き渡し関連トラブルへの対応
- IV. 「家庭裁判所への候補者推薦基準」の見直し

開催日:2017年9月27日(木)17:00～19:00

出席者:小川、奥野、片野、櫻井、四ノ宮、田中、服部、

- I. 専門職としての社会福祉士後見人の役割
- II. 「成年後見制度利用促進法」に基づく計画への専門職団体としての関与
- III. 「ばあとなあ千葉名簿登録規程」の見直し（登録員の義務、千葉会独自の会費）
- IV. ばあとなあ千葉登録員への苦情に対する対応手続

開催日:2017年11月29日(水)17:00～19:00

出席者:小川、奥野、片野、櫻井、四ノ宮、高美、田中、服部、

- I. 専門職としての社会福祉士後見人の役割
- II. 「名簿登録規程」の見直し（千葉会独自の会費の導入について）
- III. ばあとなあ千葉登録員への苦情に対する対応手続

開催日:2018年1月31日(水)17:00～19:00

出席者:奥野、片野、櫻井、田中、服部

- I. ささえあい制度について（現状確認）
- II. ぱあとなあ千葉登録員への苦情に対する対応手続きについて
- III. 「家庭裁判所への候補者推薦基準」の見直し（受任件数の「めやす」をなくする）

開催日 2018 年 3 月 7 日(水)17:00～19:00

出席者: 小川、奥野、片野、田中、服部

- I. ぱあとなあ千葉登録員への苦情対応について
- II. 「家裁への候補者推薦基準」について
- III. 2018 年度における当部会の課題

<独立型社会福祉士委員会準備部会>

独立型社会福祉士の質の担保に向け、独立型社会福祉士事務所の経営・運営の在り方等に関する研究、経験交流、ネットワークづくりを行なうとともに、研修等を通じて新しく開業したいと考える方々への支援を行なう また、千葉県社会福祉士会における独立型社会福祉士委員会の設立準備を行う

③ 権利擁護に関する相談事業の推進

- ・ 週 2 回の電話・来訪相談（火曜・木曜）

相談件数 177 件（前年度 202 件） 内訳：電話相談 162 件 面接相談 15 件
訪問相談 7 件 （前年度 3 件）

④ 成年後見制度説明会等への講師派遣

- ・ 派遣件数 10 件

⑤ ぱあとなあ千葉ニュース（登録員等会報）の発行

- ・ 年 4 回発行（4 月・7 月・10 月・1 月） 登録員：251 名 準登録員：53 名

⑥ 臨時全体会

- ・ 2017 年 8 月 5 日(土) ささえあい制度資金など説明 参加者 33 名

⑦ 全体会

- ・ 2018 年 3 月 10 日(土) 事業計画などを説明 参加者 57 名（前年度 60 名）

⑧ 法人後見業務監査委員会

- ・ 2018 年 3 月 4 日(日) 法人後見 1 件の監査を実施

⑨ 新規登録員研修

- ・ 2017 年 4 月 22 日(土)13：00～17：00 千葉県社会福祉研修センター

【登録会員数】

登録員数：256 名（2018 年 4 月）

準登録員数：53 名（2018 年 1 月）

新規登録 12 名・登録抹消 6 名（2017 年度）

【運営委員会構成】（部会内氏名：五十音順・敬称略）

（運営委員長）	小川晴雄
（副運営委員長）	奥野不二子・常陸谷政彦
（研修部会長）	奥野不二子
（コーディネート部会長）	今川純子
（業務管理部会長）	櫻井勉
（リスクマネジメント部会長）	片野無事生
（研修部会）	井部泰子・篠田仁美・出口紀子・服部明・常陸谷政彦・ 福島節子・吉田愛子
（コーディネート部会）	小川晴雄・染川章子・中山雄司
（業務管理部会）	片野無事生・鈴木勝英・出口紀子・福島節子・吉田愛子
（リスクマネジメント部会）	櫻井勉・四ノ宮章・高美修次・田中達也・服部明
（会計担当）	佐野由佳里・辻村雄司
（広報担当）	福島節子
（渉外担当）	今川純子
（IT 担当）	高美修次
（弁護士事例検討会担当）	櫻井勉・服部明・吉田愛子
（独立型社会福祉準備会担当）	櫻井勉・四ノ宮章

（５）司法福祉委員会

刑事司法ソーシャルワーカー養成講座（基礎編、応用編）や学習会、弁護士との協議会を通じて刑事司法ソーシャルワーカーの育成や資質の向上を図るとともにマッチング支援事業を実施
今後も、実践事例を積み上げ研鑽を積んでいくことが重要と考える

① 運営委員会の開催

開催日：2017年7月29日(土)

内容：刑事司法ソーシャルワーカー養成講座基礎編の報告、応用編打ち合わせ

開催日：2017年11月23日(木)

内容：共同事例集の打ち合わせ、次年度事業の検討等

② 刑事司法ソーシャルワーカー養成講座（基礎編）

開催日：2017年7月1日(土)、2日(日) 修了者：32名

③ 刑事司法ソーシャルワーカー養成講座（応用編）（認証認定機構認定研修）

開催日：2017年10月14日(土)、15日(日) 認定研修修了者：26名

④ 学習会

開催日：2017年4月23日(日)、2018年2月25日(日)

内容：事例検討

⑤ マッチング支援事業

弁護士から依頼を受け、5件の刑事事件に対して支援を行った

⑥ その他

弁護士会刑事司法委員会との司法福祉連携協議会を今年度は 6 回開催し、弁護士との協働に向けての協議、共同事例集の協議を行った

(6) その他

① 災害対策委員会

- ・ 熊本県地震に引き続き、近年各地の災害による甚大な被害や 30 年以内の首都圏直下型地震等の予測を踏まえ災害対策に重点的に取り組むため県内で開催された災害に関する研修に参加できた
- ・ 年 2 回開催される関東甲信越ブロック災害連携会議にてブロック内の連携体制をサイボウズの利用により構築し、本会「災害時対応ガイドライン」第 8 条 2 項に基づき、活動費用の一部を補助する内容をホームページ等にて周知したことから被災地支援の活動の重要性を再認識することができた なお、2017 年度では新潟県社会福祉士会と神奈川県社会福祉士会が会場となった
- ・ 2017 年 9 月 1 日防災の日、この一週間は防災週間ということもあり、期間内に開催された基礎研修Ⅰの時間をいただいて、自然な形で受講生へ社会福祉士ができる災害時のソーシャルワークについて災害対策委員会の紹介と実際の支援について報告ができた
- ・ 「被災地支援活動協力員名簿」登録者数 58 名

② 千葉県社会福祉士会倫理委員会

全国の都道府県社会福祉士会では、これまで日本社会福祉士会の綱紀委員会に委託していた苦情対応処理を主体的に行おうとする動きが始まっている

本会でも、独自の苦情対応取り組み体制づくりのため、会長以下 5 名が参加する倫理規則策定作業部会を立ち上げ、関連規則、苦情対応フローチャート原案の作成、既存の諸規定の見直し等を進めており、次年度総会での苦情対応関係諸規定案提出を目指している

③ 社会福祉士ささえあい制度配分委員会

平成 29 年 11 月 13 日に配分委員会を開催し、下記の配分金額を決定した

配分先	配分金額	内容
ぱあとなあ千葉	120,000円×3＝360,000円	無報酬後見人3件
ぱあとなあ千葉	66,000円×1＝ 66,000円	無報酬後見人1件
ぱあとなあ千葉	120,000円×1＝120,000円	無報酬保佐人1件
合計	546,000円	5件

要望内容の通り配分承認した

〈配分委員会構成員〉◎委員長 ○副委員長

◎小川晴雄（ぱあとなあ千葉）・○神山裕也（研修委員会）・大橋美和（総務委員会）・

田中千晶（総合相談委員会）・吉田愛子（司法福祉委員会）・常陸谷政彦（災害対策委員会）

④ 【松戸市居住の安定確保支援事業業務委託】

2016 年度より松戸市から委託を受けている本事業も 2 年目に入り、今年度は常勤の居宅移行支援員 1 名と非常勤の居宅移行支援員 2 名（2017 年 11 月から 1 名増員）を事業課である松戸市役所生活支援課内に配置し、市内だけでなく市外の無料低額宿泊所等に入所している生活保

護受給者に対しても積極的に支援を進めてきた

業務の内容は、無料低額宿泊所等へ長期にわたって入所している状態にある生活保護受給者を対象として、民間賃貸住宅または社会福祉法に規定する事業を行うための施設等への入所を促進させ、入居後も地域で安定した生活を維持し円滑に定着できるよう継続して支援し、もって自立を促していくことである

2年目に入ると事業課である生活支援課との連携もスムーズとなり、今年度は支援目標数の18名を大きく上回り28名が居宅への移行（転居）を完了した（内訳は市内4施設22名、市外5施設6名）

また、2018年1月には市内の生活環境が十分に整備されていない施設が閉鎖となったが、本事業における居宅移行支援の影響も施設閉鎖となる要因の一つとなったかもしれない

現状、居宅移行をしても入れ替わりに新たな人が施設に入居してくるため、2018年度も引き続き市内外の施設入居者の居宅移行への支援を行っていく

委託期間：自2017年4月1日至2018年3月31日 委託金額：12,126,365円

2017 年度 決算報告

平成29年度 収 支 計 算 書

平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで

収入の部

科目	H29予算額	決算額	差異	備考
1 会費収入	22,328,000	22,340,000	△ 12,000	
1 正会員会費	21,800,000	21,830,000	△ 30,000	正会員1,411名
2 準会員会費	18,000	8,000	10,000	準会員4名
3 賛助会員会費	10,000	12,000	△ 2,000	賛助会員2名
4 ささえあい負担金	0	0	0	
5 入会金	500,000	490,000	10,000	新入会98名
2 登録料	2,500,000	2,510,000	△ 10,000	
1 ばあとなあ名簿登録料	2,500,000	2,510,000	△ 10,000	名簿登録員251名
3 事業収入	21,023,365	23,297,985	△ 2,533,620	
1 総務事業	0	0	0	
2 総合相談事業	1,512,000	1,378,000	132,000	
3 高齢者虐待防止対策研修会(県事業)	1,300,000	1,342,000	△ 42,000	
4 高齢者虐待対応専門チーム	210,000	36,000	174,000	
5 スクールソーシャルワーカー研修	1,000	0		
6 千葉県高齢者虐待対応マニュアル改訂事業	1,000	0		
3 研修事業	4,539,000	6,702,360	△ 2,420,360	
3 基礎研修Ⅰ	897,000	355,000		
4 基礎研修Ⅱ	1,200,000	1,485,000		
5 基礎研修Ⅲ	650,000	885,000	△ 235,000	
6 ジェイシー教育研究所web模試問題作成	1,000	1,422,360	△ 1,421,360	
7 社会福祉士取得支援講座(大学等)	1,000	1,300,000	△ 1,299,000	
8 実習指導者講習会	450,000	605,000	△ 155,000	
9 実習指導者フォローアップ研修	350,000	0	350,000	
10 淑徳大学4年次正課プログラム	540,000	480,000	60,000	
12 社会福祉士ワンアツ研修	100,000	60,000	40,000	
13 社会福祉士ファシリテーター研修	350,000	110,000	240,000	
4 ばあとなあ千葉運営事業	2,155,000	2,191,260	△ 36,260	
1 委員会運営		140,820	△ 140,820	
4 成年後見制度活用講座	196,000	184,080	11,920	
5 成年後見人養成研修(委託集合研修)	750,000	600,000	150,000	
6 法人後見事業	216,000	232,360	△ 16,360	
11 ばあとなあ千葉ニュース	80,000	52,000	28,000	
13 新規登録員研修(名簿登録研修)	20,000	89,000	△ 69,000	
14 必須登録員研修	200,000	271,000	△ 71,000	
15 千葉サポート	225,000	337,000	△ 112,000	
16 レベルアップ研修	180,000	69,000	111,000	
18 テーマ別弁護士との事例検討会	288,000	216,000	72,000	
5 司法福祉	690,000	900,000	△ 210,000	
2 司法福祉学習会	30,000	0	30,000	
3 刑事司法ソーシャルワーカー養成講座(基礎編)	300,000	480,000	△ 180,000	
4 刑事司法ソーシャルワーカー養成講座(応用編)	300,000	420,000	△ 120,000	
5 マッチング支援	30,000	0	30,000	
6 弁護士との協働事例集作成	30,000	0	30,000	
6 その他	12,127,365	12,126,365	1,000	
2 災害対策研修	1,000	0	1,000	
7 居住確保支援事業	12,126,365	12,126,365	0	
4 助成金	100,000	0	100,000	
5 寄付金	150,000	300,000	△ 150,000	
6 繰越金	1,000	0	1,000	
7 雑収入	350,000	95,189	254,811	
合計	46,452,365	48,543,174	△ 2,349,809	

支出の部

科目	H29予算額	決算額	差異	備考
1 会費	7,350,000	7,445,000	△ 95,000	
1 会費	7,350,000	7,445,000	△ 95,000	
1 日本社会福祉士会正会員会費	7,350,000	7,445,000	△ 95,000	
2 事業費	22,781,000	20,903,254	1,877,746	
1 総務事業	1,573,000	1,014,518	558,482	
1 企画部会運営費	15,000	17,728	△ 2,728	
2 三団体協同事業費	15,000	75,238	△ 60,238	
3 福祉人材定着対策費	250,000	39,023	210,977	
4 名簿作成費	200,000	126,865	73,135	
5 パンフレット作成費	1,000	0	1,000	
6 広報誌作成費	1,044,000	732,950	311,050	
8 広報部会運営費	36,000	14,640	21,360	
9 web維持管理費	12,000	8,074	3,926	
2 総合相談事業	1,447,000	912,020	534,980	
1 委員会費	45,000	0	45,000	
2 高齢者虐待防止対策研修会(県事業)	1,100,000	860,932	239,068	
3 高齢者虐待対応専門チーム	240,000	51,088	188,912	
4 無料相談事業	60,000	0	60,000	
5 スクールソーシャルワーカー研修	1,000	0	1,000	
6 千葉県高齢者虐待対応マニュアル改訂事業	1,000	0	1,000	
3 研修事業	3,304,000	4,270,447	△ 966,447	
1 委員会運営費	60,000	33,251	26,749	
2 県民公開講座(研究大会)	100,000	0	100,000	
3 基礎研修Ⅰ	788,000	252,320	535,680	
4 基礎研修Ⅱ	884,000	896,280	△ 12,280	
5 基礎研修Ⅲ	473,000	677,184	△ 204,184	
6 ジェイシー教育研究所web模試問題作成	1,000	1,065,343	△ 1,064,343	
7 社会福祉士取得支援講座(大学等)	1,000	640,291	△ 639,291	
8 実習指導者講習会	250,000	300,828	△ 50,828	
9 実習指導者フォローアップ研修	74,000	0	74,000	
10 淑徳大学4年次正課プログラム	456,000	333,888	122,112	
12 社会福祉士ワンアップ研修	37,000	24,032	12,968	
13 社会福祉士ファシリテーター研修	180,000	47,030	132,970	
4 ぱあとなあ千葉運営事業	5,178,000	4,726,077	451,923	
1 委員会費	216,000	311,926	△ 95,926	
2 部会交通費	188,000	59,042	128,958	
3 相談事業	583,000	610,080	△ 27,080	
4 成年後見制度活用講座	160,000	165,482	△ 5,482	
5 成年後見人養成研修(委託集合研修)	646,000	407,022	238,978	
6 法人後見事業	199,000	211,732	△ 12,732	
7 活動報告書読み込み作業	502,000	586,696	△ 84,696	
8 日本会登録員負担金等	400,000	400,000	0	
9 渉外活動	219,000	105,970	113,030	
10 受任者面接	310,000	364,784	△ 54,784	
11 ぱあとなあ千葉ニュース	244,000	123,449	120,551	
12 コーディネート会議	567,000	503,708	63,292	
13 新規登録員研修(名簿登録研修)	20,000	128,626	△ 108,626	
14 必須登録員研修	250,000	284,136	△ 34,136	
15 千葉サポート	175,000	149,904	25,096	
16 レベルアップ研修	140,000	64,344	75,656	
17 家裁事務報告書指導	58,000	0	58,000	
18 テーマ別弁護士との事例検討会	303,000	249,176	53,824	
5 司法福祉	590,000	456,124	133,876	
1 司法福祉委員会	90,000	23,324	66,676	
2 司法福祉学習会	30,000	23,179	6,821	
3 刑事司法ソーシャルワーカー養成講座(基礎編)	195,000	171,954	23,046	
4 刑事司法ソーシャルワーカー養成講座(応用編)	187,000	210,473	△ 23,473	
5 マッチング支援	70,000	27,194	42,806	
6 弁護士との協働事例集作成	18,000	0	18,000	

6 その他	10,689,000	9,524,068	1,164,932	
1 千葉県社会福祉士会災害対策委員会	500,000	37,666	462,334	
2 災害対策研修	1,000	0	1,000	
3 千葉県社会福祉士会倫理委員会	50,000	48,840	1,160	
4 社会福祉士ささえあい制度配分委員会	27,000	6,276	20,724	
5 選挙管理委員会	30,000	16,704	13,296	
6 法人監査業務委員会	45,000	99,192	△ 54,192	
7 居住確保支援事業	10,000,000	9,315,390	684,610	
8 千葉県生涯研修センター	36,000	0	36,000	
3 事務費	15,850,000	16,717,242	△ 867,242	
1 一般物品費	500,000	317,110	182,890	
2 印刷製本費	1,050,000	824,138	225,862	
3 役務費	750,000	839,945	△ 89,945	
4 慶弔費	30,000	53,262	△ 23,262	
5 賃金等	9,900,000	10,815,776	△ 915,776	
6 使用料	1,750,000	1,237,032	512,968	
7 委託料	600,000	1,660,516	△ 1,060,516	
8 役員費用弁償	70,000	24,809	45,191	
9 役員旅費	450,000	264,446	185,554	
10 役員選挙事務費	150,000	243,040	△ 93,040	
11 保険料	100,000	213,930	△ 113,930	
12 雑費	500,000	223,238	276,762	
4 租税公課	550,000	95,635	454,365	
5 敷金支出	0	0	0	
6 予備費	695,000	0	695,000	
7 配分金	2,100,000	546,000	1,554,000	
合計	49,326,000	45,707,131	3,618,869	
当期一般正味財産増減額	△ 2,873,635	2,836,043	△ 5,968,678	

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	50,190,028	47,123,141	3,066,887
未収入金	3,066,952	3,008,459	58,493
貯蔵品	16,249	28,314	△ 12,065
前払費用	92,070	92,070	0
預け金	134,200	134,200	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	53,499,499	50,386,184	3,113,315
2. 固定資産			
(1) 固定資産			
敷金	920,700	920,700	0
固定資産合計	920,700	920,700	0
3. 基本財産			
定期預金	2,000,000	2,000,000	0
基本財産合計	2,000,000	2,000,000	0
資産合計	56,420,199	53,306,884	3,113,315
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,588,695	1,467,793	120,902
預り金	341,946	185,576	156,370
仮受金	0	0	0
流動負債合計	1,930,641	1,653,369	277,272
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,930,641	1,653,369	277,272
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産合計	2,000,000	2,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	0
2. 一般正味財産	52,489,558	49,653,515	2,836,043
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	54,489,558	51,653,515	2,836,043
負債及び正味財産合計	56,420,199	53,306,884	3,113,315

正味財産増減計算書

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①会費収入	22,340,000	21,712,000	628,000
②ばあとなあ名簿登録料	2,510,000	2,412,000	98,000
③事業収入	23,297,985	21,897,036	1,400,949
④助成金	0	0	0
⑤寄付金	300,000	46,000	254,000
⑥雑収入	95,189	286,372	△ 191,183
経常収益計	48,543,174	46,353,408	2,189,766
(2) 経常費用			
①会費支出	7,445,000	7,555,000	△ 110,000
②事業費	20,903,254	18,450,595	2,452,659
③管理費	16,717,242	13,062,465	3,654,777
経常費用計	45,065,496	39,068,060	5,997,436
当期経常増減額	3,477,678	7,285,348	△ 3,807,670
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①法人税等	95,635	95,350	285
②配分金	546,000	1,157,150	△ 611,150
③予備費	0	375,000	△ 375,000
経常外費用計	641,635	1,627,500	△ 610,865
当期経常外増減額	△ 641,635	△ 1,627,500	985,865
当期一般正味財産増減額	2,836,043	5,657,848	△ 2,821,805
一般正味財産期首残高	49,653,515	43,995,667	5,657,848
一般正味財産期末残高	52,489,558	49,653,515	2,836,043
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産期末残高	2,000,000	2,000,000	0
III 正味財産期末残高	54,489,558	51,653,515	2,836,043

現金預金明細表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

取引金融機関	種 類	金 額	備 考
千 葉 銀 行 千葉市役所出張所	普通預金 No. 3056203	8,099,294	
千 葉 銀 行 千葉市役所出張所	普通預金 No. 3067795	7,116,913	居住確保支援事業
ゆうちょ銀行	普通預金 No. 10520-90294141	11,113,911	
ゆうちょ銀行	振替口座 No. 00170-0-713799	11,183,765	
ゆうちょ銀行	振替口座 No. 00170-6-569895	5,840,900	社会福祉士ささえあい制度用
千 葉 銀 行 千葉市役所出張所	定期預金 No. 3056190(2)	6,748,099	
現 金		87,146	
合 計		50,190,028	

未収入金明細表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

相 手 先 名	金 額	摘 要
千 葉 県	1,342,000	高齢者虐待対応研修委託料
松 戸 市	1,010,532	居住確保支援事業3月分
ジェイシー教育研究所	588,600	国家試験分析及び回答解説
山武市社会福祉協議会	125,820	講師派遣
合 計	3,066,952	

貯蔵品明細表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

相 手 先 名	金 額	摘 要
切 手 代	16,249	
合 計	16,249	

前払費用明細表
平成30年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
塚本総業	92,070	賃料他4月分
合 計	92,070	

預け金明細表
平成30年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
千葉県	134,200	高齢者虐待対応研修契約保証金
合 計	134,200	

敷金明細表
平成30年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
塚本総業	920,700	敷金
合 計	920,700	

基本財産明細表
平成30年3月31日現在

(単位:円)

取引金融機関	種 類	金 額	備 考
千葉銀行 千葉市役所出張所	定期預金 No. 3056190(1)	2,000,000	
合 計		2,000,000	

未払金明細表
平成30年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
職 員	1,432,650	3月分給与(居住確保支援事業人件費含む)
年金事務所	156,045	社会保険料事業主負担
合 計	1,588,695	

預り金明細表
平成30年3月31日現在

(単位:円)

相 手 先 名	金 額	摘 要
職員・講師他	188,270	源泉所得税
職 員	153,676	社会保険料
合 計	341,946	

雑収入明細表
平成30年3月31日現在

(単位:円)

相 手 先 名	金 額	摘 要
受取利息	1,062	
事務受託費等	94,127	一般社団法人 千葉県精神保健福祉士協会 一般社団法人 千葉県医療ソーシャルワーカー協会
合 計	95,189	

事業収入明細表
自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

(単位:円)

相 手 先 名	金 額	摘 要
千 葉 県	1,342,000	高齢者虐待防止対策研修
千 葉 県	36,000	高齢者虐待対応専門職チーム
東京成徳大学 淑徳大学	1,780,000	社会福祉士取得支援
ジェイシー教育研究所	1,422,360	社会福祉士養成事業
松 戸 市	12,126,365	居住確保支援事業
合 計	16,706,725	

議案第2号

定款の変更について

本ページに掲載する、一般社団法人千葉県社会福祉士会定款を変更することについて、総会の承認を求めます

(提案理由)

- 条番号に誤りがあったため

定款新旧対照表

旧 (改正前)	新 (改正案)
一般社団法人千葉県社会福祉士会定款 ＜制定＞平成 24 年 10 月 28 日 ＜最新改正＞平成 30 年 4 月 1 日 第 1 条～第 12 条 (略) (職務) 第 13 条 第 1 項～第 3 項 (略) 4 監事は、次に掲げる職務を行い、法令で定めるところにより監査報告を作成する。なお、職務に際し必要のあるときは、理事及び第 42 条に定める事務局の職員に対して事業の報告を求め、調査することができる。 (1) 財産及び会計を監査すること。 (2) 理事の職務執行状況を監査すること。 (3) 財産、会計及び業務の執行について、不正の事実を発見したときは、これを理事会に報告すること。 (4) 前号の報告をするため必要があるときは、理事会の招集を請求し、又は招集すること。 第 14 条～第 45 条 (略)	一般社団法人千葉県社会福祉士会定款 ＜制定＞平成 24 年 10 月 28 日 ＜最新改正＞2018 年 6 月 24 日 第 1 条～第 12 条 (略) (職務) 第 13 条 第 1 項～第 3 項 (略) 4 監事は、次に掲げる職務を行い、法令で定めるところにより監査報告を作成する。なお、職務に際し必要のあるときは、理事及び第 44 条に定める事務局の職員に対して事業の報告を求め、調査することができる。 (1) 財産及び会計を監査すること。 (2) 理事の職務執行状況を監査すること。 (3) 財産、会計及び業務の執行について、不正の事実を発見したときは、これを理事会に報告すること。 (4) 前号の報告をするため必要があるときは、理事会の招集を請求し、又は招集すること。 第 14 条～第 45 条 (略)

改正箇所は、下線が引かれた部分となります

議案第3号

役員の選任について

役員の任期満了にあたり、以下の候補者名簿の通り役員を選任することについて、総会の承認を求めます

No.	役職	候補者氏名	備考
1	理事	浅見 雅人	会員理事：四期目
2	理事	大浦 明美	会員理事：四期目
3	理事	小川 晴雄	会員理事：三期目
4	理事	渋谷 茂	会員理事：三期目
5	理事	榎林 元樹	会員理事：二期目
6	理事	竹嶋 信洋	会員理事：二期目
7	理事	宮本 哲男	会員理事：二期目
8	理事	山口 利史	会員理事：二期目
9	理事	市原 久夫	会員理事：新任
10	理事	四ノ宮 章	会員理事：新任
11	理事	服部 明	会員理事：新任
12	理事	古澤 肇	会員理事：新任
13	理事	宮下 朱実	会員理事：新任
14	理事	岡本 武志	会員理事：三期目（理事会推薦）
15	理事	常陸谷 政彦	会員理事：二期目（理事会推薦）
16	理事	矢部 智之	会員外理事：新任（成年後見センター・リーガルサポート）
17	理事	田中 知華	会員外理事：三期目（千葉県弁護士会推薦）
18	理事	近藤 昭子	会員外理事：三期目（千葉県精神保健福祉士協会推薦）
19	理事	山本 尚江	会員外理事：二期目 （千葉県医療ソーシャルワーカー協会推薦）
20	理事	山下 興一郎	会員外理事：二期目 （日本ソーシャルワーク教育学校連盟）
21	監事	山口 定之	三期目
22	監事	奥野 不二子	新任

<補足説明>

役員の選任決議については、関係法令に適合するために候補者1名ずつ議決する必要があります。なお役員の任期は、2020年6月の定時総会終結の時までとなります。